

大間原子力発電所審査資料	
資料番号	OM1-CA181-R00
提出年月日	2022年11月7日

大間原子力発電所

新規制基準適合性審査に関わるボーリングコア観察資料

(シームS-11の性状等)

2022年11月

電源開発株式会社

大間原子力発電所

新規制基準適合性審査に関するボーリングコア観察資料 (シームS-11の性状等)

2022年11月7日
電源開発株式会社

0. 概要	2
1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相	8
2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無	15
3. Ts-6法面付近のコア	23
4. Ts-7トレンチ付近のコア	40
5. Tf-5(a)トレンチのコア	51
6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア	56

0. 概要

本日まで確認頂く主な項目

① 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相

シームS-11及び細粒凝灰岩をご確認頂く(下記②)にあたり、シームは水中火山岩類である易国間層が後期中新世の応力場で撓んだ際に層面すべりが生じ、更に熱水が作用して形成されたものであり、それに係る敷地の易国間層及び大間層の代表的な岩種・岩相をご確認。

② FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無

シームS-11の分布は一様でなく、シームS-11有り(粘土質の薄層有り)、シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)及びシームS-11なし(細粒凝灰岩なし)についてご確認。

③ Ts-6法面付近のコア

後期更新世に「変位が生じた」部分の模式地点であるTs-6法面付近において、地表付近のシームS-11等の性状の確認を主な目的として、後期更新世に「変位が生じた」部分/「生じていない」部分のシームS-11及びその付近の易国間層の岩盤性状(風化程度)についてご確認。

④ Ts-7トレンチ付近のコア

変状分布の中心付近に位置し、後期更新世に「変位が生じた」部分の代表地点であるTs-7トレンチ付近において、後期更新世に「変位が生じた」部分/「生じていない」部分のシームS-11及びその付近の易国間層の岩盤性状(風化程度)についてご確認。

⑤ Tf-5(a)トレンチのコア

シームS-11がcf-3断層により切断され、後期更新世以降に「変位が生じていない」部分の模式地点であるTf-5(a)トレンチにおいて、検討着手の起点(軸)となる深部のシームS-11の性状の確認を目的として、後期更新世以降に「変位が生じていない」部分のシームS-11及びその付近の易国間層の岩盤性状(風化程度)についてご確認。

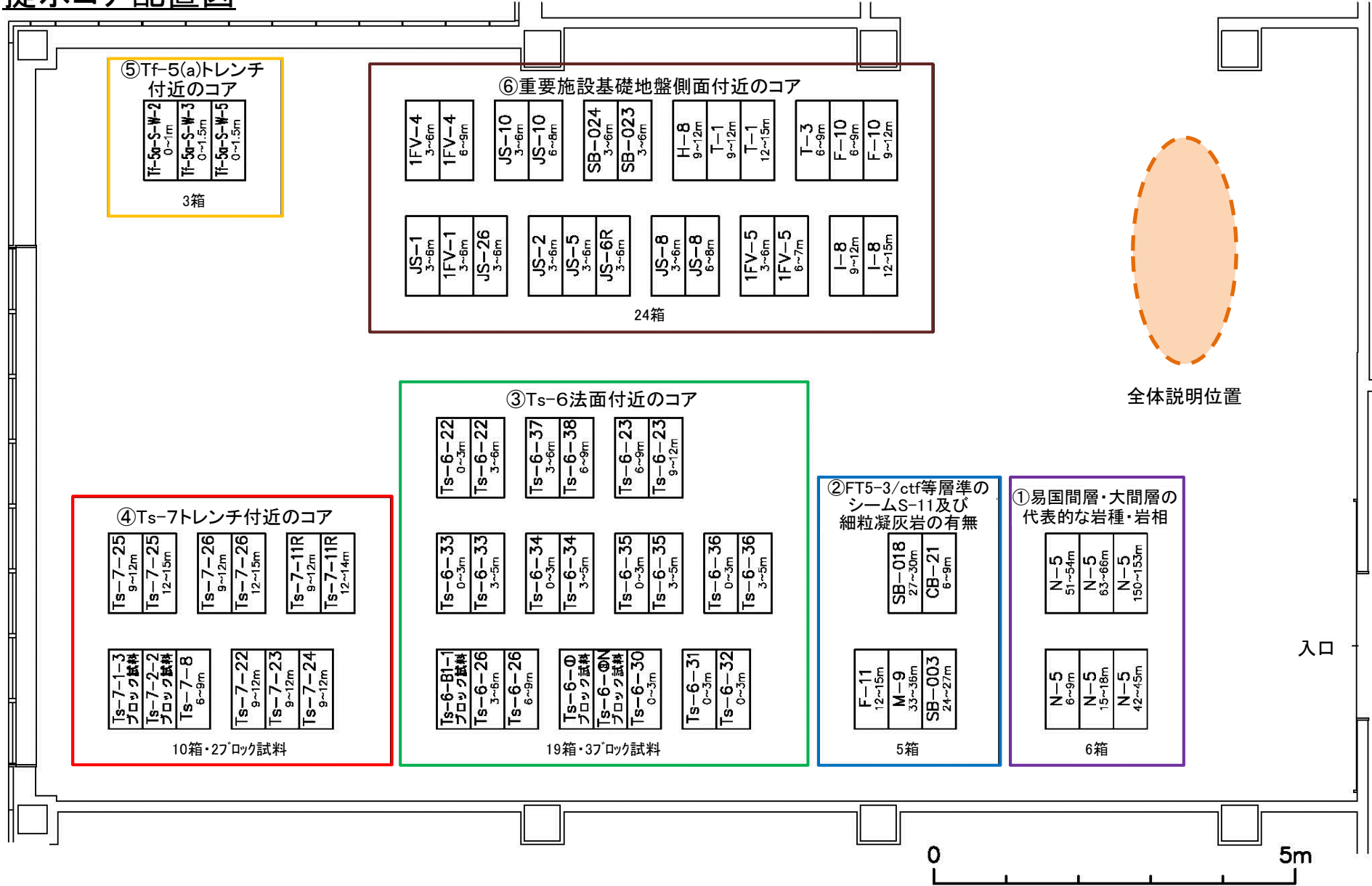
⑥ 重要施設基礎地盤側面付近のコア

重要施設基礎地盤側面に分布する深部のシームの性状の確認を目的として、後期更新世以降に「変位が生じていない」部分のシームS-11及びその付近の易国間層の岩盤性状(風化程度)についてご確認。

0. 概要



提示コア配置図



O. 概要



提示コア一覧表(1/4)

対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
①易国間層・大間層の 代表的な岩種・岩相	1	N-5	6 ~ 9	淡灰色火山礫凝灰岩, シームS-11	有り	6.71	11	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 机上配布資料 7頁(柱状図), 47頁(コア写真)	
	2	N-5	15 ~ 18	凝灰角礫岩	-	-			
	3	N-5	42 ~ 45	暗灰色火山礫凝灰岩 等, シームS-10	-	-	12	設置変更許可申請書(平成26年12月) 6-3-487, 6-3-488頁(柱状図) 第338回審査会合資料(2016.3.10) 本編資料 34頁(コア写真)	
	4	N-5	51 ~ 54	安山岩溶岩 (角礫状)	-	-			
	5	N-5	63 ~ 66	安山岩溶岩 (塊状)	-	-			13
	6	N-5	150 ~ 153	シルト岩	-	-	14	設置変更許可申請書(平成26年12月) P.6-3-491(柱状図)	コア写真は初出
②FT5-3/ctf等層準の シームS-11及び細粒凝灰岩 の有無	7	F-11	12 ~ 15	FT5-3/ctf等層準	有り	13.59	18	第986回審査会合資料(2021.6.25) 机上配 布資料 8頁(柱状図), 65頁(コア写真)	①シームS-11有り(粘土質の薄層有り)
	8	M-9	33 ~ 36		なし	35.31~35.50	19	第986回審査会合資料(2021.6.25) 机上配 布資料 17頁(柱状図), 74頁(コア写真)	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
	9	SB-003	24 ~ 27		なし	25.81~25.83	20	第986回審査会合資料(2021.6.25) 机上配 布資料 26頁(柱状図), 83頁(コア写真)	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
	10	SB-018	27 ~ 30		なし	28.84~28.90	21	第986回審査会合資料(2021.6.25) 机上配 布資料 41頁(柱状図), 98頁(コア写真)	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
	11	CB-21	6 ~ 9		なし	7.26~7.36	22	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 本 編資料 3-83頁(コア写真)	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし) 柱状図は初出

0. 概要

提示コア一覧表(2/4)

対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
③Ts-6法面 付近のコア	12	Ts-6-B1-1	ブロック試料	シームS-11及び周辺 の岩盤(淡灰色火山礫 凝灰岩)	有り	-	25	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 本編資料 3-122頁	
	13	Ts-6-26	3 ~ 9		有り	6.40	26	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-9頁	
	14	Ts-6-ブロック①	ブロック試料		有り	-	27	追加調査結果を審査会合資料として 今後ご説明予定	
	15	Ts-6-ブロック③N	ブロック試料		有り	-	28		
	16	Ts-6-30	0 ~ 3		有り	0.84	29		
	17	Ts-6-31	0 ~ 3		有り	1.67	30		
	18	Ts-6-32	0 ~ 3		有り	2.05	31		
	19	Ts-6-33	0 ~ 5		有り	2.53	32		
	20	Ts-6-34	0 ~ 5		有り	2.80	33		
	21	Ts-6-35	0 ~ 5		有り	3.14	34		
	22	Ts-6-36	0 ~ 5		有り	3.67	35		
	23	Ts-6-22	0 ~ 6		有り	3.61	36	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-10頁	
	24	Ts-6-37	3 ~ 6		有り	4.81	37	追加調査結果を審査会合資料として 今後ご説明予定	
	25	Ts-6-38	6 ~ 9		有り	6.53	38		
26	Ts-6-23	6 ~ 12	有り	8.20	39	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-8頁			

0. 概要



提示コア一覧表(3/4)

対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
④Ts-7 トレンチ 付近のコア	27	Ts-7-1-3	ブロック試料	シームS-11及び周辺 の岩盤(淡灰色火山礫 凝灰岩)	有り	-	42	追加調査結果を審査会合資料として 今後ご説明予定	ブロック試料Ts-7-1-2の近傍で採取
	28	Ts-7-2-2	ブロック試料		有り	-	43		ブロック試料Ts-7-2-4の近傍で採取
	29	Ts-7-8	6 ~ 9		有り	7.50	44		
	30	Ts-7-22	9 ~ 12		有り	10.61	45		
	31	Ts-7-23	9 ~ 12		有り	11.05	46		
	32	Ts-7-24	9 ~ 12		有り	11.32	47		
	33	Ts-7-25	9 ~ 15		有り	11.61	48		
	34	Ts-7-26	9 ~ 15		有り	11.88	49		
	35	Ts-7-11R	9 ~ 14	有り	12.40	50			
⑤Tf-5(a) トレンチ 付近のコア	36	Tf-5a-S-W-2	0 ~ 1	シームS-11及び周辺 の岩盤(淡灰色火山礫 凝灰岩)	有り	0.52	53	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-12頁	
	37	Tf-5a-S-W-3	0 ~ 1.5		有り	1.15	54	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-13頁	
	38	Tf-5a-S-W-5	0 ~ 1.5		有り	1.10	55	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-14頁	

0. 概要



提示コア一覧表(4/4)

対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度(m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
⑥重要施設 基礎地盤側面 付近のコア	39	JS-1	3 ~ 6	シームS-11及び 周辺の岩盤(淡灰色 火山礫凝灰岩)	有り	3.88	60	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-3頁	
	40	JS-26	3 ~ 6		有り	4.53	61	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-4頁	
	41	JS-2	3 ~ 6		有り	4.95	62	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-5頁	
	42	JS-5	3 ~ 6		有り	5.20	63	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-6頁	
	43	JS-6R	3 ~ 6		なし	5.56	64	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-7頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
	44	JS-8	3 ~ 8		有り	6.43	65	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-8頁	
	45	I-8	9 ~ 15		なし	11.42	66	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-9頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
	46	1FV-4	3 ~ 9		有り	6.14	67	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-10頁	
	47	JS-10	3 ~ 8		有り	6.22	68	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-11頁	
	48	SB-024	3 ~ 6		なし	5.78~5.79	69	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-12頁	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
	49	H-8	9 ~ 12		有り	9.38	70	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-14頁	
	50	1FV-1	3 ~ 6		有り	4.57	71	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-19頁	
	51	1FV-5	3 ~ 7		有り	6.61	72	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-20頁	
	52	SB-023	3 ~ 6		有り	4.72	73	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-13頁	
	53	T-1	9 ~ 15		なし	11.86~11.90	74	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-15頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
54	T-3	6 ~ 9	なし	7.32~7.39	75	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-16頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)		
55	F-10	6 ~ 12	有り	9.19	76	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-17頁			

地質柱状図及びコア写真

1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(1/7)



「1.」の提示コア一覧表

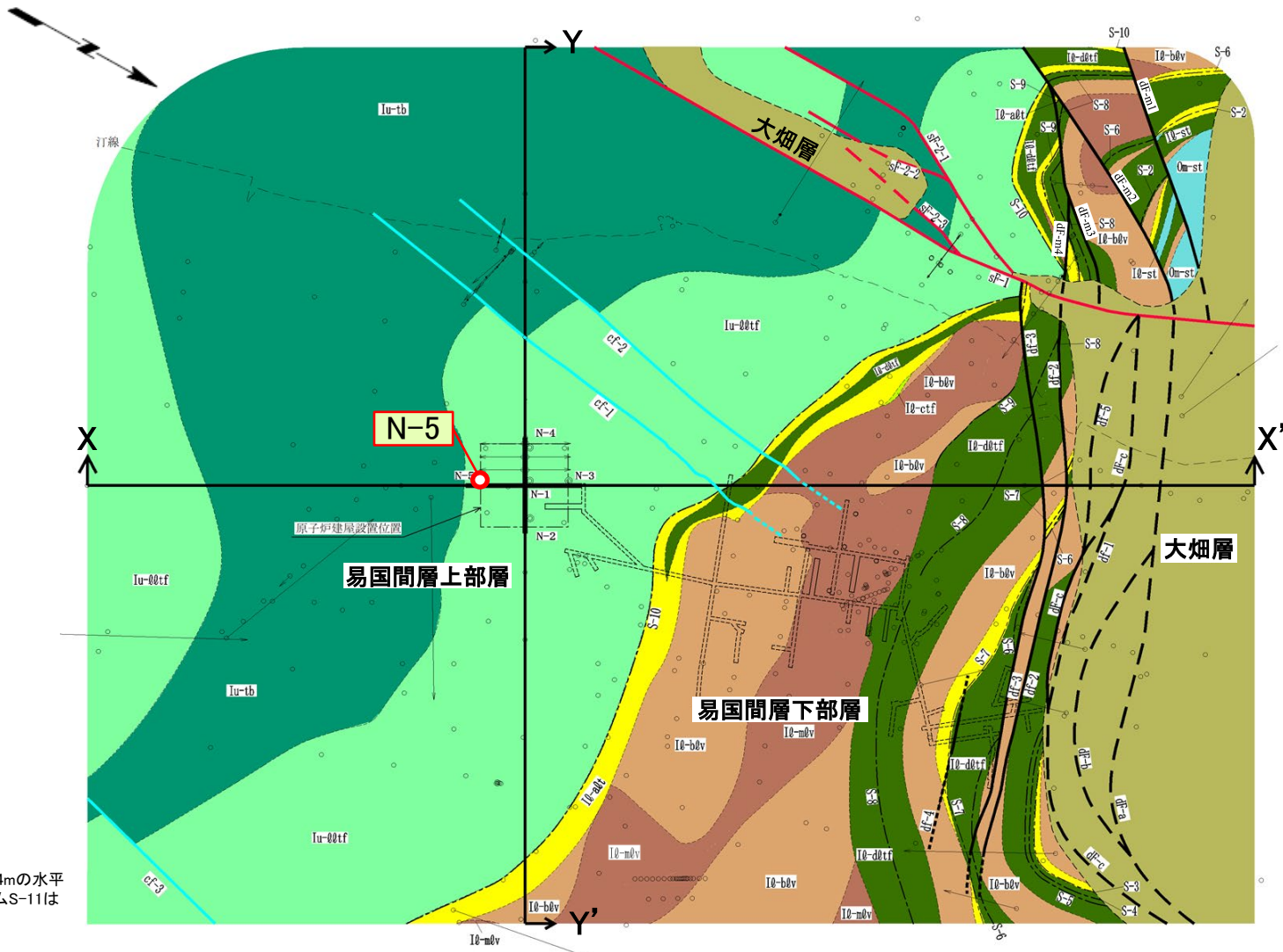
対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
①易国間層・大間層の 代表的な岩種・岩相	1	N-5	6 ~ 9	淡灰色火山礫凝灰岩, シームS-11	有り	6.71	11	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 机上配布資料 7頁(柱状図), 47頁(コア写真)	
	2	N-5	15 ~ 18	凝灰角礫岩	-	-			
	3	N-5	42 ~ 45	暗灰色火山礫凝灰岩 等, シームS-10	-	-	12	設置変更許可申請書(平成26年12月) 6-3-487, 6-3-488頁(柱状図) 第338回審査会合資料(2016.3.10) 本編資料 34頁(コア写真)	
	4	N-5	51 ~ 54	安山岩溶岩 (角礫状)	-	-			
	5	N-5	63 ~ 66	安山岩溶岩 (塊状)	-	-	13		
	6	N-5	150 ~ 153	シルト岩	-	-	14	設置変更許可申請書(平成26年12月) P.6-3-491(柱状図)	コア写真は初出

1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(2/7)



観察対象のN-5孔の位置:水平断面図(T.P.-14m)

原子炉建屋設置位置付近の5孔の炉心ボーリングのうち、南側に位置しシームS-11以深の岩種・岩相が分布するN-5孔のコアを観察対象とする。



凡例
● : 本日のご観察コア

- 大畑層
 - Oh-tog 凝灰質礫岩
- 上部層
 - Iu-ktf 淡灰色火山礫凝灰岩
 - Iu-tb 凝灰角礫岩
- 易国間層
 - 下部層
 - Ic-ctf 粗粒凝灰岩
 - Ic-dtf 暗灰色火山礫凝灰岩
 - Ic-bbv 安山岩溶岩 (角礫状)
 - Ic-mbv 安山岩溶岩 (塊状)
 - 上部層
 - Ic-st シルト岩
 - Ic-alt 細粒凝灰岩・粗粒凝灰岩・暗灰色火山礫凝灰岩互層
粗粒凝灰岩・暗灰色火山礫凝灰岩・シルト岩互層
- 大間層
 - Om-st シルト岩
- 境界線
 - 地層境界
 - 地質境界
- 断層系
 - df-2 dF 断層系 (破線は伏在部、点線は端部があると考えられる区間)
 - cf-1 cf 断層系 (点線は端部があると考えられる区間)
 - sf-2-1 sF 断層系 (破線は大畑層による伏在部)
- シーム
 - - - シーム
- 試掘坑
 - ▭ 試掘坑
 - ▭ 試験坑
 - ▭ 補足調査坑
- 炉心ボーリング
 - 炉心ボーリング
 - 鉛直ボーリング
 - 水平・斜めボーリング (・はT.P.-14mにおけるボーリング孔位置)
- 断面図位置
 - X X' 断面図位置

注)本図はT.P.-14mの水平断面で、シームS-11は出現しない。

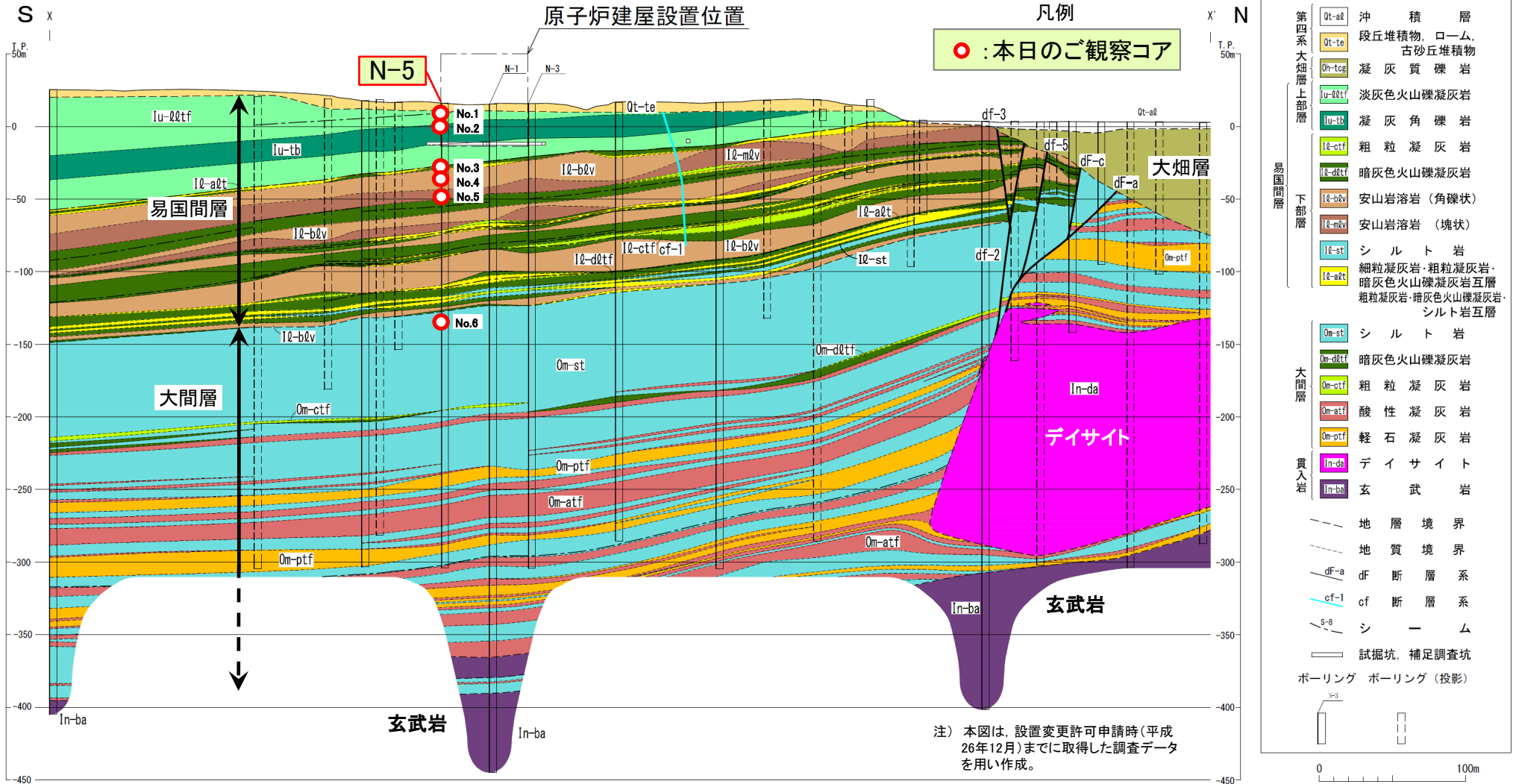
1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(3/7)



観察対象のN-5孔の位置及び提示コア箇所：鉛直断面図(南北方向X-X')

- N-5孔の赤丸で示す位置で、易国間層の淡灰色火山礫凝灰岩等(No.1~No.5)と、大間層のシルト岩(No.6)の岩種・岩相を示す。
- 易国間層については、上位から、淡灰色火山礫凝灰岩(No.1:シームS-11挟在)、凝灰岩礫岩(No.2)、暗灰色火山礫凝灰岩(No.3:細粒凝灰岩等挟在)、安山岩溶岩(角礫状)(No.4)、安山岩溶岩(塊状)(No.5)を観察する。
- シームS-11及び細粒凝灰岩が淡灰色火山礫凝灰岩に挟在される層序的位置関係を確認する。

凡例



注) 本図は、設置変更許可申請時(平成26年12月)までに取得した調査データを用い作成。

1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(4/7)

N-5孔 深度6m～9m(淡灰色火山礫凝灰岩)及び15m～18m(凝灰角礫岩)

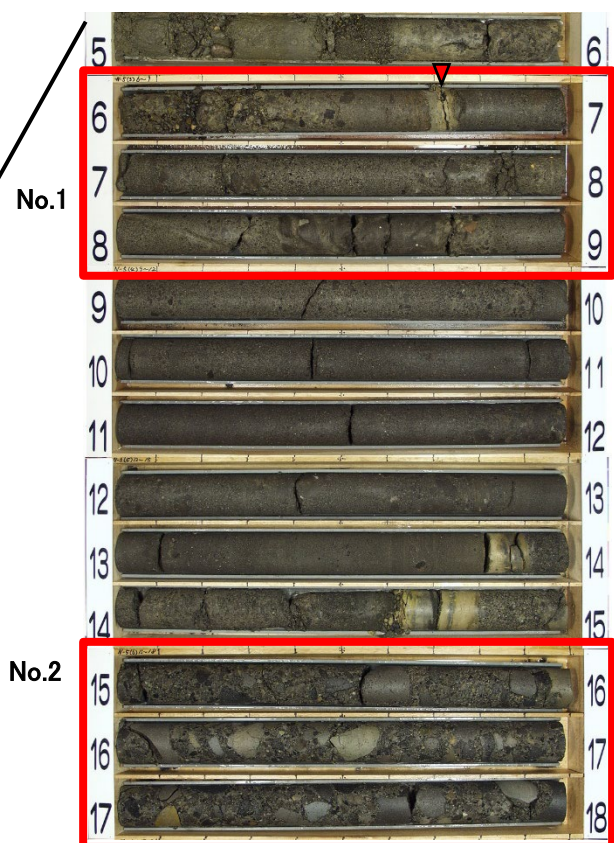
- 深度6m～9mには淡灰色火山礫凝灰岩が分布(深度6.71mにシームS-11挟在)。淡灰色火山礫凝灰岩は、数cmの大きさ(径2mm～64mm)の主に軽石の礫を多く含む火山碎屑岩。
- 深度15m～18mには凝灰角礫岩が分布。凝灰角礫岩は径64mm以上の安山岩の礫を多く含む火山碎屑岩。

孔名: N-5 孔口標高: T.P.16.07m 掘削長: 320.00m (11 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
0					埋土		灰/褐灰	100			
1	1.48	14.59			ローム		褐	100			
2	2.37	13.70		第四系	段丘堆積物		暗灰/暗褐	100			
3			100								
4			100								
5			100								
6	5.61	10.46						100			5.61m～6.74m: 風化により軟質化している。
7					py(W)		灰黒/淡黄褐	100	25	62	6.69m～6.74m: 細粒凝灰岩が分布する。 6.71m: 厚さ約3.5cmのシーム(S-11)がある。
8								100	45	89	
9								100	28	92	
10					淡灰色火山礫凝灰岩	l0tf		100	45	88	
11							灰黒/暗黄灰	100	48	85	
12								100	53	100	
13								100	43	100	
13.32	2.75				粗粒凝灰岩	ctf	暗灰	100	72	93	
13.91	2.16				淡灰色火山礫凝灰岩	l0tf	灰黒/暗黄灰	100	26	80	13.82m～13.91m: 細粒凝灰岩と粗粒凝灰岩の互層が分布する。
14.80	1.27							100	26	80	14.63m～14.80m: 細粒凝灰岩と粗粒凝灰岩の互層が分布する。
16					凝灰角礫岩	tb	灰黒/淡黄灰	100	40	85	
17								100	45	96	
18								100	42	85	

凡例

 : 本日のご観察コア



▼ シームS-11 注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。



1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(5/7)

N-5孔 深度42m~45m(暗灰色火山礫凝灰岩等)及び51m~54m(安山岩溶岩(角礫状))

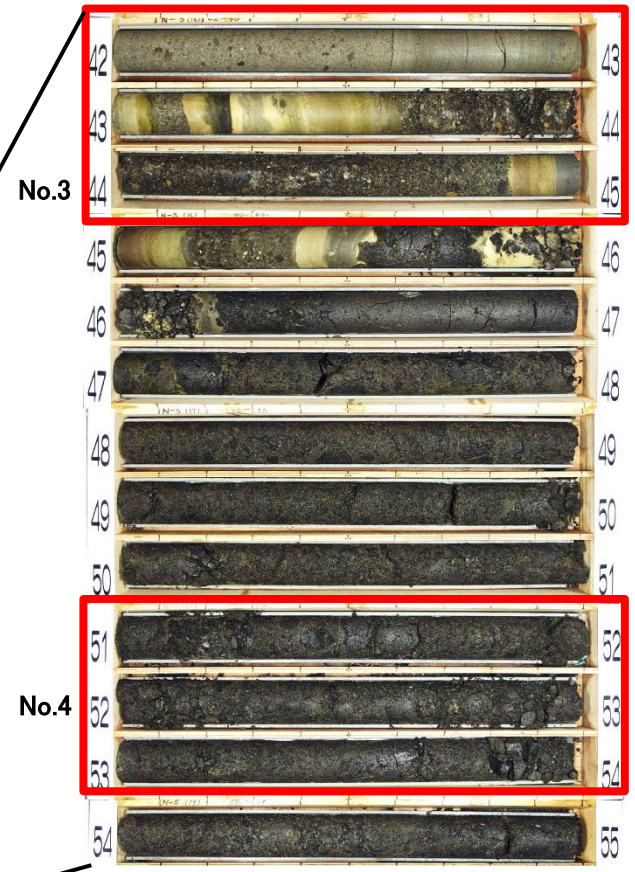
- 深度42m~45mには淡灰色火山礫凝灰岩, 暗灰色火山礫凝灰岩, 細粒凝灰岩等が分布(深度43.03mにシームS-10挟在)。暗灰色火山礫凝灰岩は, 数cmの大きさ(径2mm~64mm)の安山岩等の礫を多く含む火山碎屑岩。
- 深度51m~54mには安山岩溶岩(角礫状)が分布。安山岩溶岩(角礫状)は, 安山岩溶岩のうち角礫状を呈する部分。

孔名: N-5 孔口標高: T.P.16.07m 掘削長: 320.00m (11 - 2)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)	R Q D (%)		記事		
								0	100		0	100		0	100
36			×	易国間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	dctf	灰黒/暗黄灰	100	33	91					
37			×					100	46	95					
38			×					100	94	94					
39			×					100	58	100					
40			×					100	100	100					
41			×					100	75	93					
42	42.61	-26.54	×					粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	60	93	43.02m~43.08m: 細粒凝灰岩が分布する 43.03m: 厚さ約3.6cmのシーム(S-10)がある。	
43	43.02	-26.95	△	細粒凝灰岩/暗灰色火山礫凝灰岩/粗粒凝灰岩	tf/dctf / ctf	灰黒/黄灰・暗黄灰・灰	100				42	70			
44	43.61	-27.54	△	暗灰色火山礫凝灰岩	dctf	灰黒/暗黄灰	100				100	100			
45	44.85	-28.78	△	細粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	tf/ctf	黄灰・灰	100	100	100	45.40m~45.53m: 細粒凝灰岩と粗粒凝灰岩の互層が分布する。 45.80m~46.10m付近: 細粒凝灰岩をブロック状に含む。 45.93m~46.17m: 岩片状コア。					
46	45.16	-29.09	△				暗灰色火山礫凝灰岩	dctf	灰黒/暗黄灰		100	50	82		
47	45.53	-29.46	△				粗粒凝灰岩	ctf	黄灰・灰		100	30	67		
48			△					100	53	95					
49			△					100	60	100					
50			△					100	43	87					
51			△					100	25	95					
52			△	易国間層 下部層	安山岩溶岩(角礫状)	bctv	黒/暗黄灰	100	37	93					
53			△					100	28	71					
54			△					100	47	82					
55			△					100	30	92					

凡例

 : 本日のご観察コア



1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(6/7)

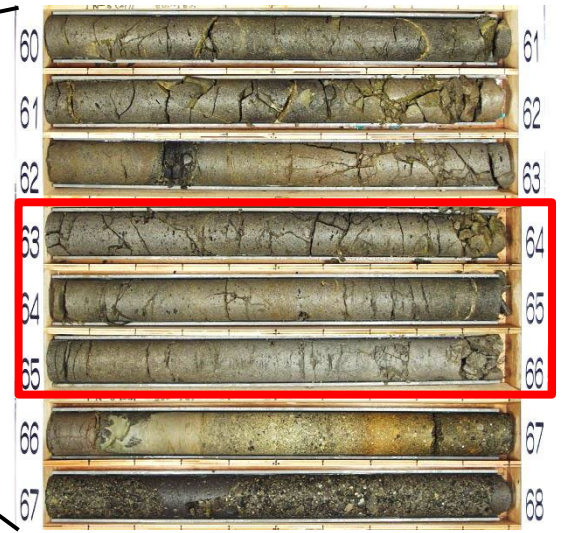
N-5孔 深度63m~66m(安山岩溶岩(塊状))

深度63m~66mには安山岩溶岩(塊状)が分布。安山岩溶岩(塊状)は、安山岩溶岩のうち塊状を呈する部分。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: N-5		孔口標高: T.P.16.07m		掘削長: 320.00m (11-3)									
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア採取率		最大 コア長 (cm)	R Q D		記 事
								0 (%)	100 (%)		0 (%)	100 (%)	
60			^^^					100	23	36			
61			^^^					100	19	0			61.70m~61.95m: 岩片状コア。
62			^^^					100	20	51			
63			^^^		安山岩溶岩(塊状)	m&v(I)	灰褐・灰	100	11	11			No.5
64			^^^					100	18	46			
65			^^^					100	20	46			
66	66.17	-50.10	^^^					100	75	100		66.17m~66.34m: 粗粒凝灰岩が分布する。	
67			xxx				黒/暗黄灰	100	100	100			
68			xxx		暗灰色火山礫凝灰岩	d&t		100	37	100			
69			xxx				灰黒/淡黄灰	100	100	100			
70			xxx					100	100	100			
71	70.99 71.22	-54.92 -58.18	xxx		粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	81	92			71.17m~71.22m: 細粒凝灰岩が分布する。 71.19m: 厚さ約0.7cmのシーム(S-8)がある。
72			xxx					100	69	100			
73			xxx		暗灰色火山礫凝灰岩	d&t	黒/暗黄灰	100					



1. 易国間層・大間層の代表的な岩種・岩相(7/7)

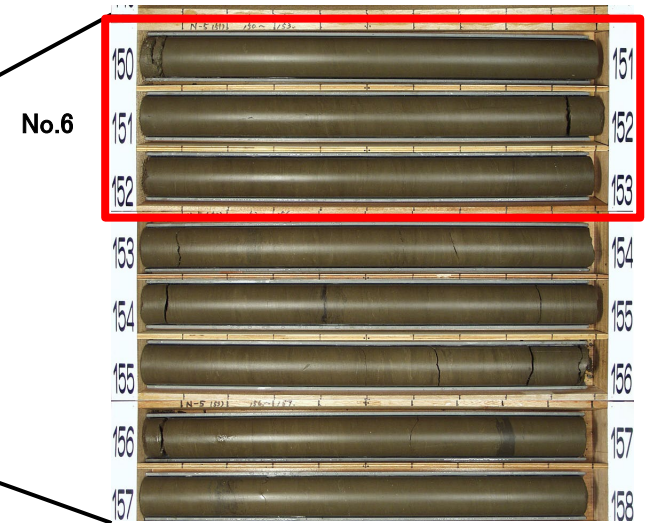
N-5孔 深度150m~153m(シルト岩)

深度150m~153mには大間層のシルト岩が分布。シルト岩は均質で珪藻化石を多く含む。

孔名: N-5		孔口標高: T.P.16.07m		掘削長: 320.00m (11-6)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
150			[柱状図]	大間層	シルト岩	st	暗緑灰	100	94	94	
151		100						94	94		
152		100						100	100		
153		100						48	91		
154		100						82	98		
155		100						49	97		
156		100						38	95		
157		100						100	100		
158		100						55	95		
159		100						67	87		
160		100	74	92	160.00m~160.08m:酸性凝灰岩が分布する。						
161		100	53	96							
162		100	98	95							
163		100	52	84							
164		100	47	95	164.47m~164.98m:傾斜角約90°の微小な変位を伴う不連続面がある。見掛けの鉛直変位量は約0.5cm~約1cm。						
165		100	57	91							

凡例

 : 本日のご観察コア



2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(1/8)



「2.」の提示コア一覧表

対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
②FT5-3/ctf等層準の シームS-11及び細粒凝灰岩 の有無	7	F-11	12 ~ 15	FT5-3/ctf等層準	有り	13.59	18	第986回審査会合資料(2021.6.25)机上配布資料 8頁(柱状図), 65頁(コア写真)	①シームS-11有り(粘土質の薄層有り)
	8	M-9	33 ~ 36		なし	35.31~35.50	19	第986回審査会合資料(2021.6.25)机上配布資料 17頁(柱状図), 74頁(コア写真)	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
	9	SB-003	24 ~ 27		なし	25.81~25.83	20	第986回審査会合資料(2021.6.25)机上配布資料 26頁(柱状図), 83頁(コア写真)	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
	10	SB-018	27 ~ 30		なし	28.84~28.90	21	第986回審査会合資料(2021.6.25)机上配布資料 41頁(柱状図), 98頁(コア写真)	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
	11	CB-21	6 ~ 9		なし	7.26~7.36	22	第1043回審査会合資料(2022.4.22)本編資料 3-83頁(コア写真)	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし) 柱状図は初出



シームS-11の有無による詳細区分

①シームS-11有り(粘土質の薄層有り), ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)及び③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)から成る層準については, 側方に同じ層序的位置に追跡可能であることから, これら①~③の地層を同じ層準とし, 総称として「細粒凝灰岩FT5-3/粗粒凝灰岩等の層準」(以下「FT5-3/ctf等層準」という。)とする。

	①シームS-11有り(粘土質の薄層有り)	②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)	③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)
模式図			
コア写真			

注) ①及び②の細粒凝灰岩FT5-3付近の淡灰色火山礫凝灰岩には, 薄い粗粒凝灰岩や葉理が見られる場合があるが, 柱状図の標準観察(1/100スケール)では淡灰色火山礫凝灰岩に区分され表示されない。

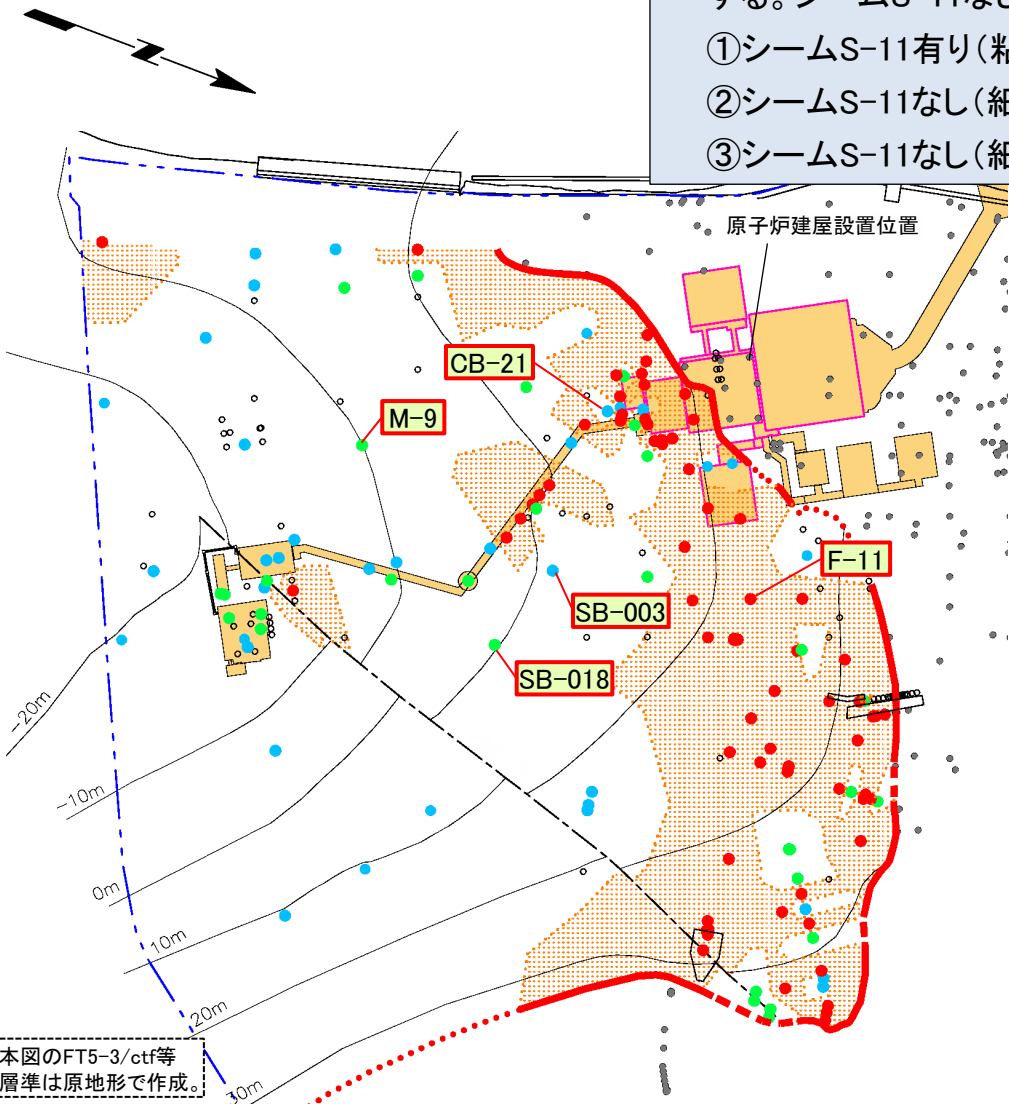
2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(3/8)



観察対象孔の位置: 平面図

敷地内の5孔のボーリングコアを対象として、シームS-11及び細粒凝灰岩の有無を観察する。シームS-11なしの②③は地層の一部であり堅固な岩盤であることを確認する。

- ①シームS-11有り(粘土質の薄層有り): F-11孔
- ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り): SB-018孔, M-9孔
- ③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし): CB-21孔, SB-003孔



本図のFT5-3/ctf等層準は原地形で作成。

審査資料の再チェックを行い、「シーム分布図での表示」を修正した。



*1: 設置許可基準規則第三条の対象となる耐震重要施設(間接支持構造物を含む)。
*2: 設置許可基準規則第三十八条の対象となる常設耐震重要重大事故防止施設又は常設重大事故緩和設備が設置される重大事故等対処施設(特定重大事故等対処施設を除く)。

2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(4/8)



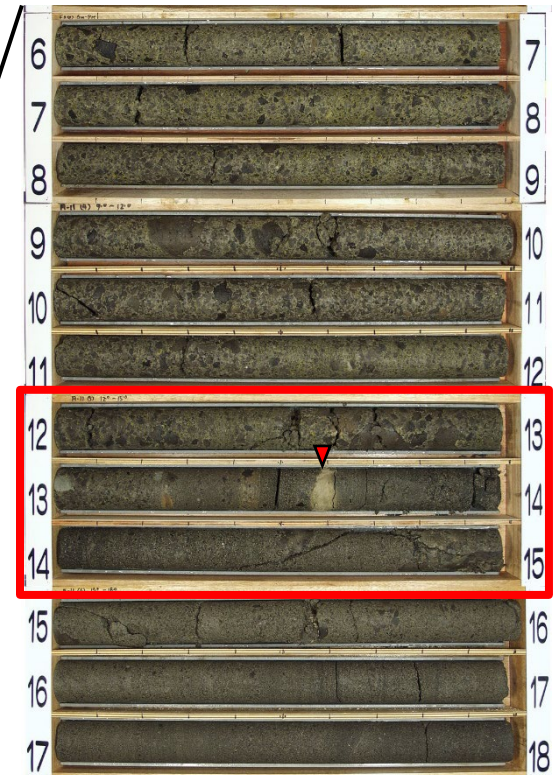
F-11孔 深度12m~15m: ①シームS-11有り(粘土質の薄層有り)

深度13.59mには、シームS-11「①シームS-11有り(粘土質の薄層有り)」が分布する。

孔名: F-11		孔口標高: T.P.25.80m		掘削長: 180.00m (6-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.58	25.22	YY	第四系	腐植土		褐黒	100			1.78m~3.58m: 風化により軟質化している。
1	1.78	24.02	XXXX		ローム		褐	100			
2			XXXX						0	0	
3			XXXX			py(W)	灰黒/淡黄褐	100	14	26	
4			XXXX					100	48	87	
5			XXXX					100	34	92	
6			XXXX	淡灰色火山礫凝灰岩	00tf	灰黒/淡黄灰	100	37	100	13.57m~13.62m: 細粒凝灰岩が分布する。 13.59m: 厚さ約3.3cmのシーム(S-11)がある。	
7			XXXX				100	39	89		
8			XXXX				100	50	100		
9			XXXX				100	51	89		
10			XXXX				100	51	94		
11			XXXX				100	51	94		
12			XXXX				100	71	100		
13			XXXX				100	43	72		
14			XXXX				100	49	72		
15			XXXX				100	50	92		
16	16.58	9.22	XXXX	易固間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩 / 粗粒凝灰岩	00tf/ctf	灰黒 / 淡黄灰・暗灰 / 灰黒/淡黄灰	100	62	100	
17	17.36	8.44	XXXX					100	82	100	
18			XXXX					100			

凡例

□ : 本日のご観察コア



▼ シームS-11

2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(5/8)



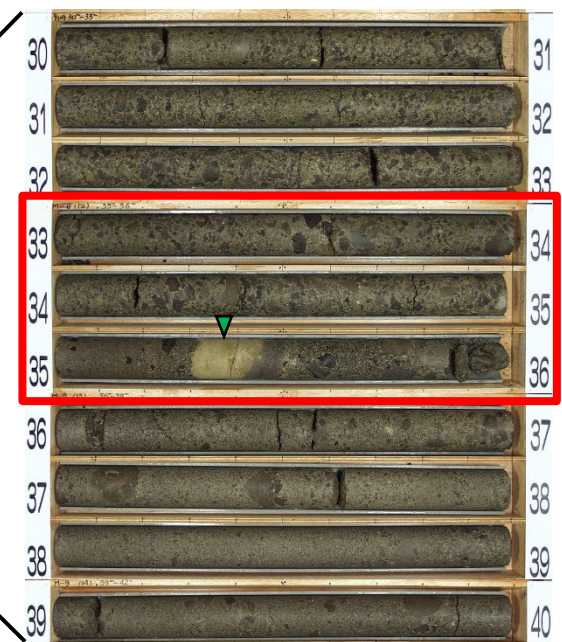
M-9孔 深度33m~36m: ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)

深度35.31m~35.50mには、細粒凝灰岩「②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)」が分布する。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: M-9		孔口標高: T.P.25.30m		掘削長: 430.00m (15-2)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
30			✕✕✕					100	38	96	
31								100	38	100	
32								100	53	100	
33								100	57	97	35.31m~35.50m: 粗粒凝灰岩が分布する。
34								100	37	100	
35								100	48	87	
36								100	44	82	
37					淡灰色火山礫凝灰岩	00tf	灰黒/淡黄灰	100	62	100	38.75m~38.79m: 粗粒凝灰岩が分布する。
38				100				100	100		
39				100				78	100	39.15m~39.18m: 粗粒凝灰岩が分布する。	
40											



注) 35.31m~35.50mには粗粒凝灰岩が分布し、一部に細粒凝灰岩の薄層が認められる。

▼ ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)

2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(6/8)

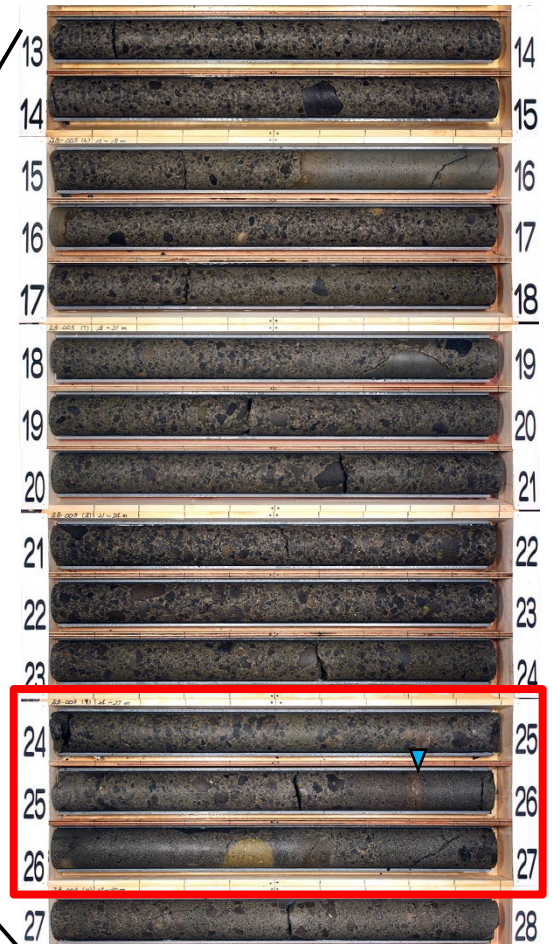
SB-003孔 深度24m~27m:③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)

深度25.81m~25.83mには、淡灰色火山礫凝灰岩のうち細粒凝灰岩質な部分「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」が分布する。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: SB-003 孔口標高: T.P.27.03m 掘削長: 318.00m (11 - 1)											
標尺	深度	標高	柱状	地層	地質	岩盤	色調	コア採取率	最大コア長	RQD	記事
(m)	(m)	T.P.(m)	図	名	名	区分		0(%)100	0(cm)100	0(%)100	
13			✕✕✕					100	60	100	
14			✕✕✕					100	63	93	
15			✕✕✕					100	33	98	
16			✕✕✕	易国間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩			100	49	95	
17			✕✕✕					100	69	100	
18			✕✕✕			00tf	灰黒/淡黄灰	100	75	100	
19			✕✕✕					100	56	100	
20			✕✕✕					100	65	100	
21			✕✕✕					100	47	100	
22			✕✕✕					100	48	100	
23			✕✕✕					100	60	100	
24			✕✕✕					100	66	96	
25			✕✕✕					100	55	97	25.81m~25.83m:細粒凝灰岩質である。
26			✕✕✕					100	34	95	
27			✕✕✕					100	53	100	
28			✕✕✕					100	53	100	
29			✕✕✕					100	45	75	
30			✕✕✕								



注)25.81m~25.83mには細粒凝灰岩質な火山礫凝灰岩が分布するが、細粒凝灰岩は分布しない。

▼ ③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)

2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(7/8)

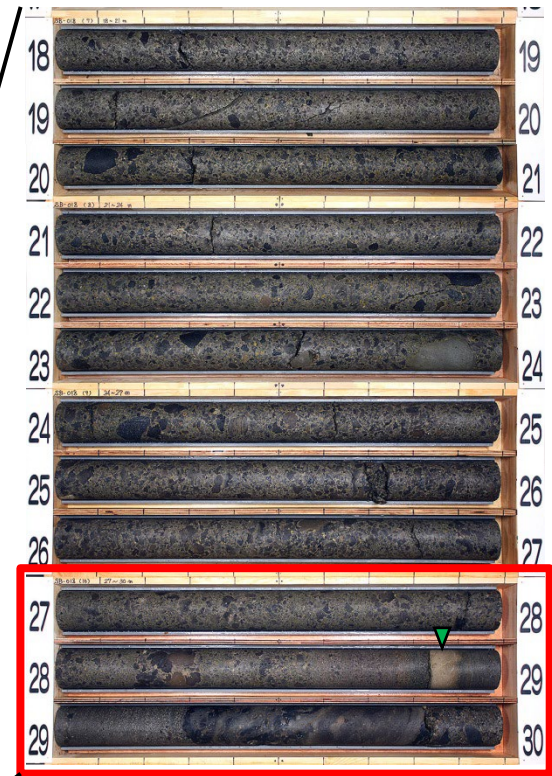
SB-018孔 深度27m~30m: ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)

深度28.84m~28.90mには、細粒凝灰岩「②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)」が分布する。

孔名:SB-018 孔口標高:T.P.27.12m 掘削長:330.00m (11 - 1)											
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	記 事
14			✕	易固間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩			100	31	94	
15		100						84	94		
16		100						94	94		
17		100						61	100		
18			✕			00tf	灰黒/淡黄灰	100	72	100	28.84m~28.90m: 細粒凝灰岩が分布する。
19		100						42	100		
20		100						70	100		
21		100						65	100		
22		100						83	93		
23		100						54	100		
24		100						56	92		
25		100						70	95		
26		100						81	100		
27		100						92	92		
28		100						84	100		
29		100						46	100		

凡例

 : 本日まで観察コア



▼ ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)

2. FT5-3/ctf等層準のシームS-11及び細粒凝灰岩の有無(8/8)



CB-21孔 深度6m~9m:③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)

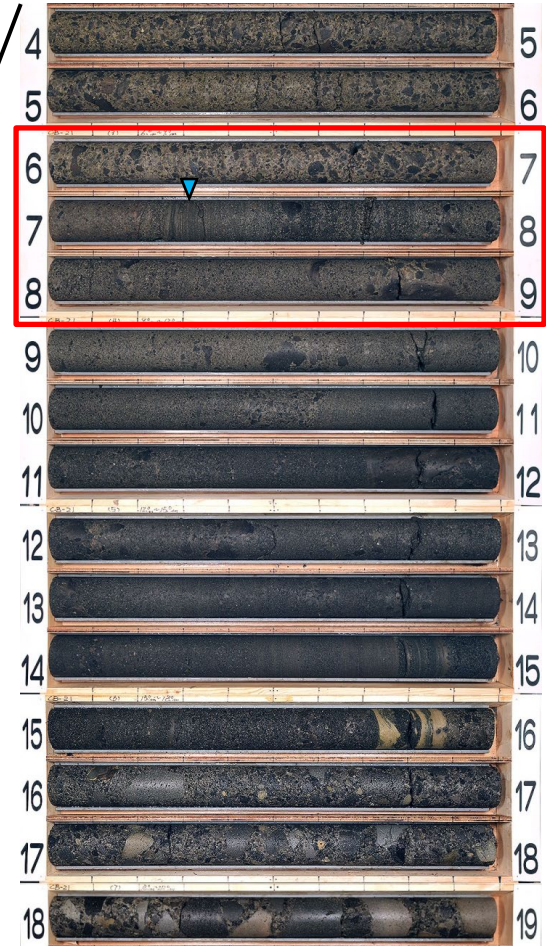
深度7.26m~7.36mには、粗粒凝灰岩「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」が分布する。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: CB-21 孔口標高: T.P.12.12m 掘削長: 20.00m (1 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
								0-100	0-100			
1	1.04	11.08	[Pattern]	-	埋土	-	暗灰/黒灰	100	0	0	0	1.04m~6.90m:風化により軟質化している。
2		100						0	0	0		
3		100						34	66			
4		100						41	89			
5			[Pattern]					100	41	89		7.26m~7.36m:粗粒凝灰岩が分布する。
6		100						36	95			
7		100						67	100			
8		100						37	86			
9			[Pattern]	易国間層上部層				100	69	91		
10		100						82	99			
11		100						85	100			
12		100						83	100			
13			[Pattern]					100	43	100		
14		100						79	100			
15	14.46 ~ -2.34							100	78	100		
16	14.89 ~ -2.77							100	78	100		
17			[Pattern]					100	81	100		
18	15.88 ~ -3.76							100	81	100		
19								100	81	100		
20	20.00 ~ -7.88							100	43	100		
			[Pattern]					100	52	100		
								100	80	96		



▽ ③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)

3. Ts-6法面付近のコア(1/17)

「3.」の提示コア一覧表

対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
③Ts-6法面 付近のコア	12	Ts-6-B1-1	ブロック試料	シームS-11及び周辺 の岩盤(淡灰色火山礫 凝灰岩)	有り	-	25	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 本編資料 3-122頁	
	13	Ts-6-26	3 ~ 9		有り	6.40	26	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-9頁	
	14	Ts-6-ブロック①	ブロック試料		有り	-	27	追加調査結果を審査会合資料として 今後ご説明予定	
	15	Ts-6-ブロック③N	ブロック試料		有り	-	28		
	16	Ts-6-30	0 ~ 3		有り	0.84	29		
	17	Ts-6-31	0 ~ 3		有り	1.67	30		
	18	Ts-6-32	0 ~ 3		有り	2.05	31		
	19	Ts-6-33	0 ~ 5		有り	2.53	32		
	20	Ts-6-34	0 ~ 5		有り	2.80	33		
	21	Ts-6-35	0 ~ 5		有り	3.14	34		
	22	Ts-6-36	0 ~ 5		有り	3.67	35		
	23	Ts-6-22	0 ~ 6		有り	3.61	36	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-10頁	
	24	Ts-6-37	3 ~ 6		有り	4.81	37	追加調査結果を審査会合資料として 今後ご説明予定	
	25	Ts-6-38	6 ~ 9		有り	6.53	38		
26	Ts-6-23	6 ~ 12	有り	8.20	39	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-8頁			

3. Ts-6法面付近のコア(2/17)

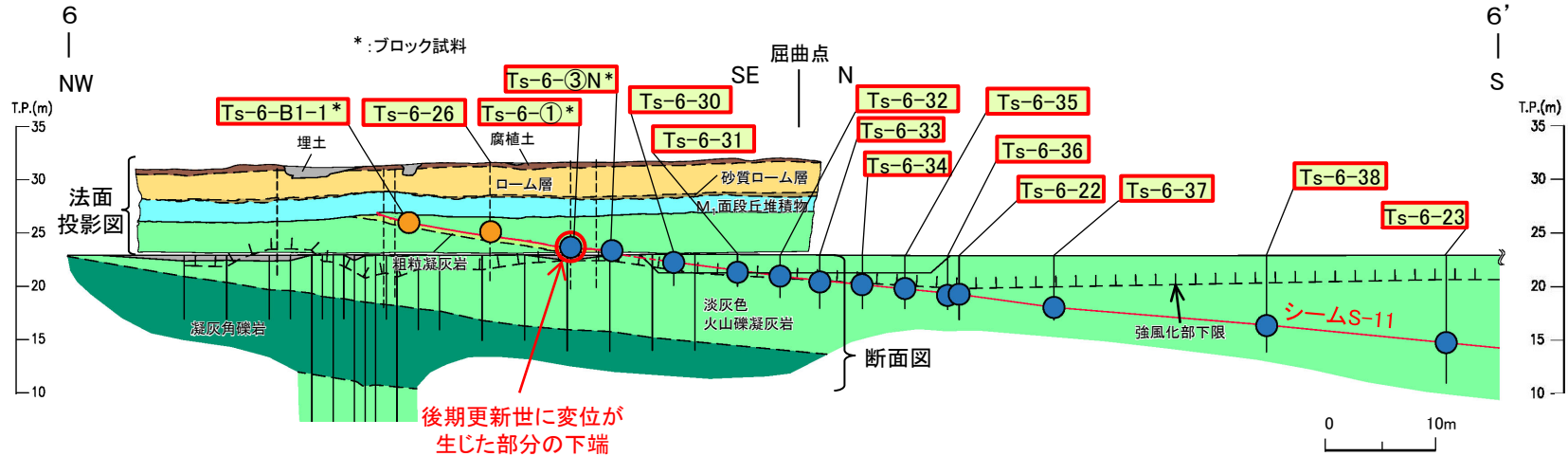


観察対象コア・ブロック試料の位置

Ts-6法面付近の断面図に示す12孔のボーリングコア及び法面の3箇所から採取されたブロック試料で、後期更新世に変位が生じた部分と後期更新世以降に変位が生じていない部分のシームS-11及びその上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の岩盤性状(風化程度)を観察する。

凡例

□ : 本日のご観察コア

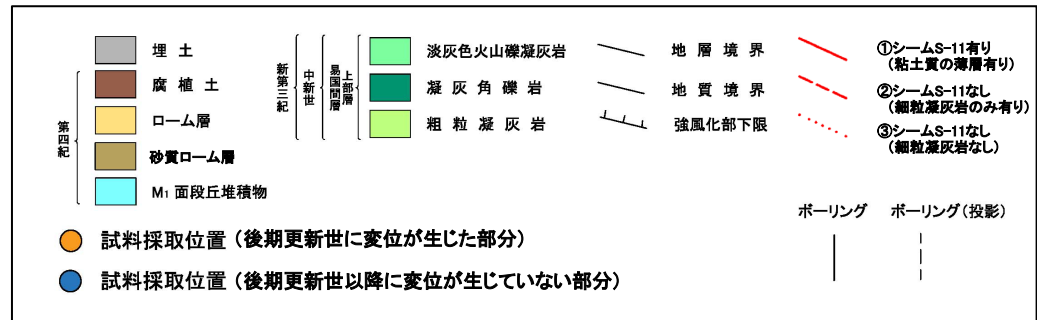


後期更新世に変位が生じた部分の下端

Ts-6法面付近の断面図・法面投影図

注) Ts-6法面付近の断面図・法面投影図は鏡像配置して示す予定であるが、現地での見え方と整合が取れるよう本資料では鏡像配置していない。

凡例



本図のFT5-3/ctf等層準は2022年度撮影の航空写真を基に作成。

断面位置



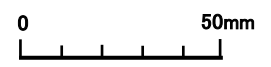
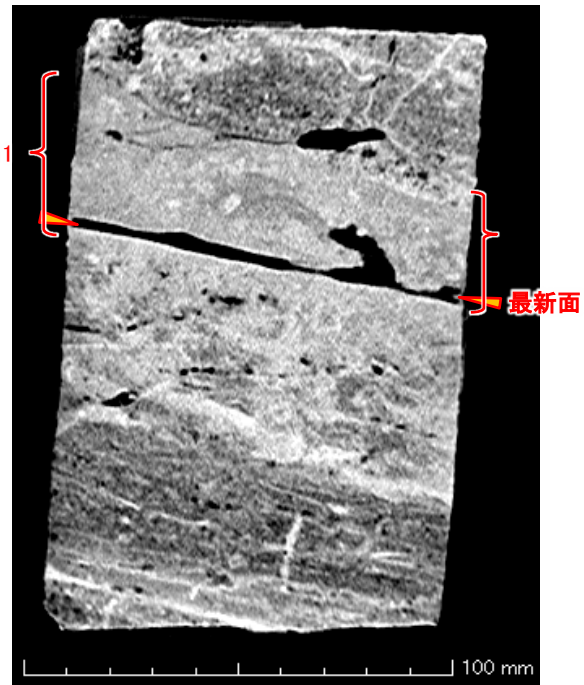
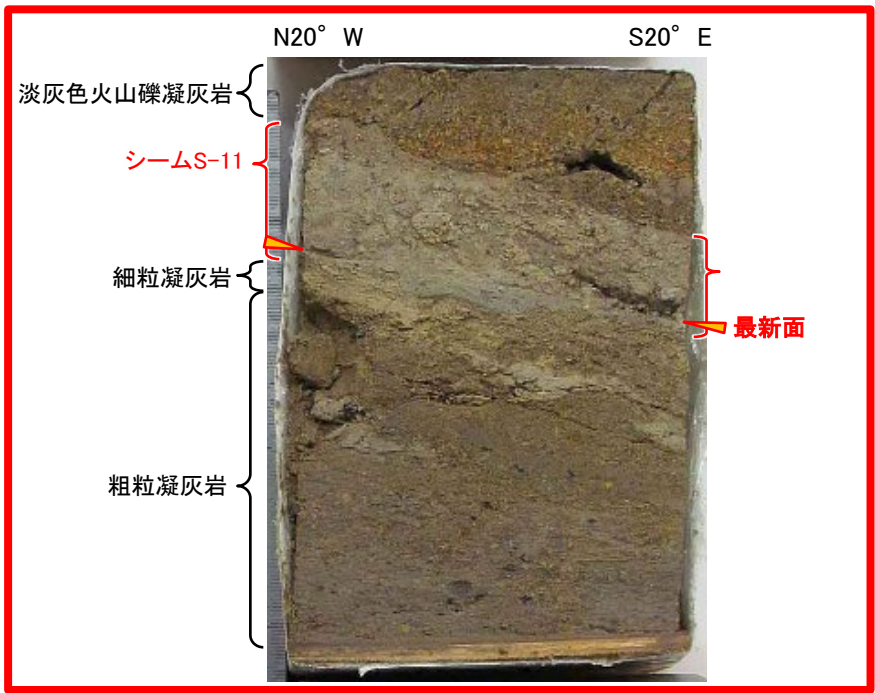
3. Ts-6法面付近のコア(3/17)

Ts-6-B1-1(ブロック試料):後期更新世に「変位が生じた」シームS-11(強風化部)

- Ts-6法面のブロック試料 Ts-6-B1-1にはシームS-11が分布する。
- シームS-11上盤の淡灰色火山礫凝灰岩及び下盤の粗粒凝灰岩は強風化部から成る。
- CT画像では、最新面は非常にシャープで開口している。

凡例

: 本日のご観察ブロック試料



CT画像(鉛直断面)

試料画像(鉛直切断面)

3. Ts-6法面付近のコア(4/17)

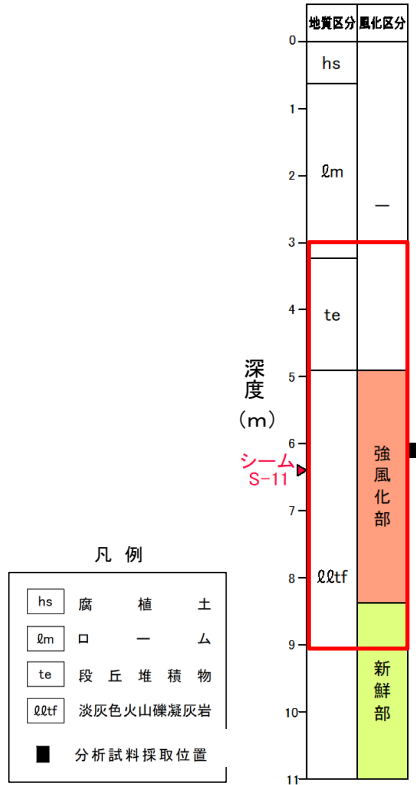


Ts-6-26孔 深度3m~9m:後期更新世に「変位が生じた」シームS-11(強風化部)

- 深度6.40mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

: 本日まで観察コア



- 強風化部下限深度: 8.38m
- 弱風化部下限深度: なし

- ▼ 岩盤上面
- ▽ 風化部下限(強風化部下限)
- ▼ シームS-11
- 分析試料採取位置

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は, 試料分析実施のためコアなし。

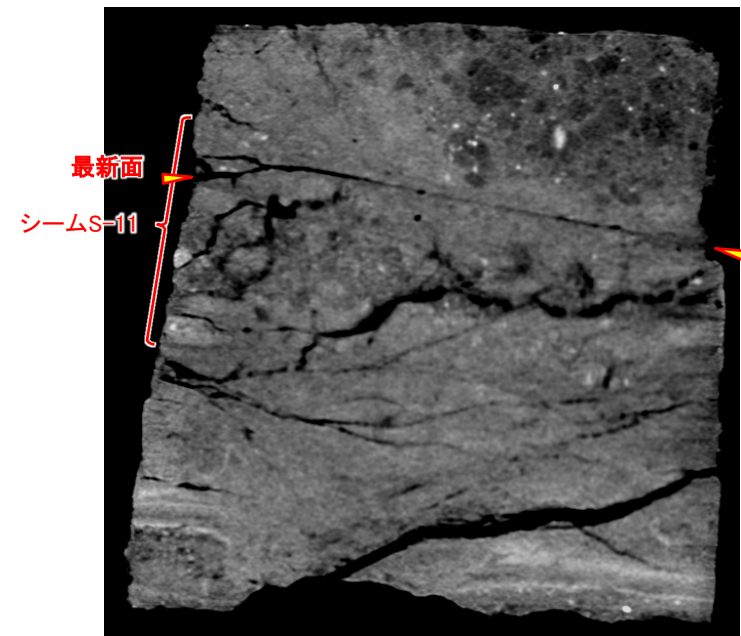
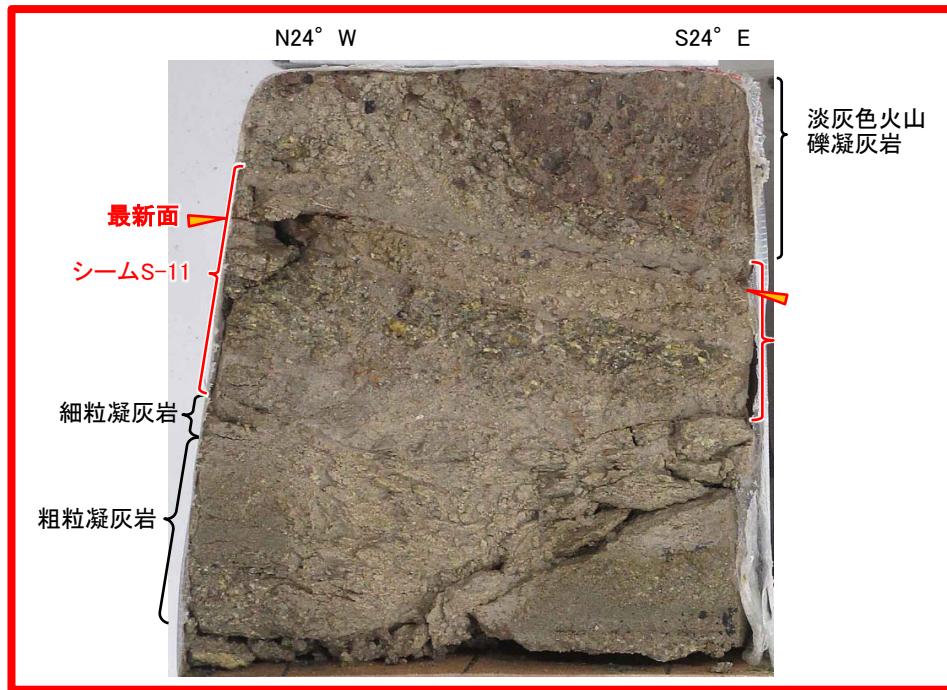
3. Ts-6法面付近のコア(5/17)

Ts-6-ブロック①(ブロック試料): 後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

- Ts-6法面のブロック試料 Ts-6-①にはシームS-11が分布する。
- シームS-11上盤の淡灰色火山礫凝灰岩及び下盤の粗粒凝灰岩は強風化部から成る。
- CT画像では, 最新面はおおむね密着している。

凡例

: 本日のご観察ブロック試料



試料画像(鉛直切断面)



CT画像(鉛直断面)

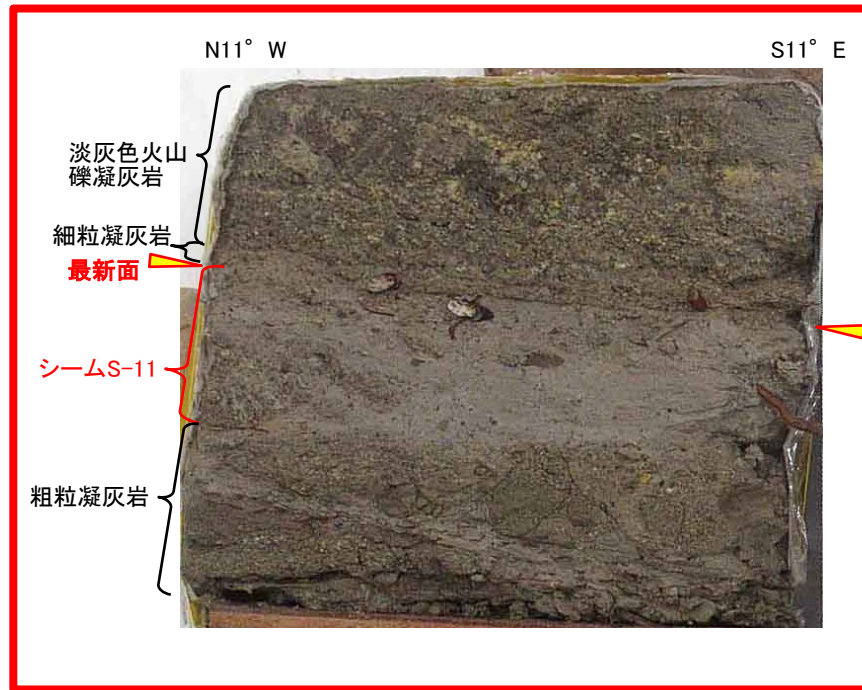
3. Ts-6法面付近のコア(6/17)

Ts-6-ブロック③N(ブロック試料) : 後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

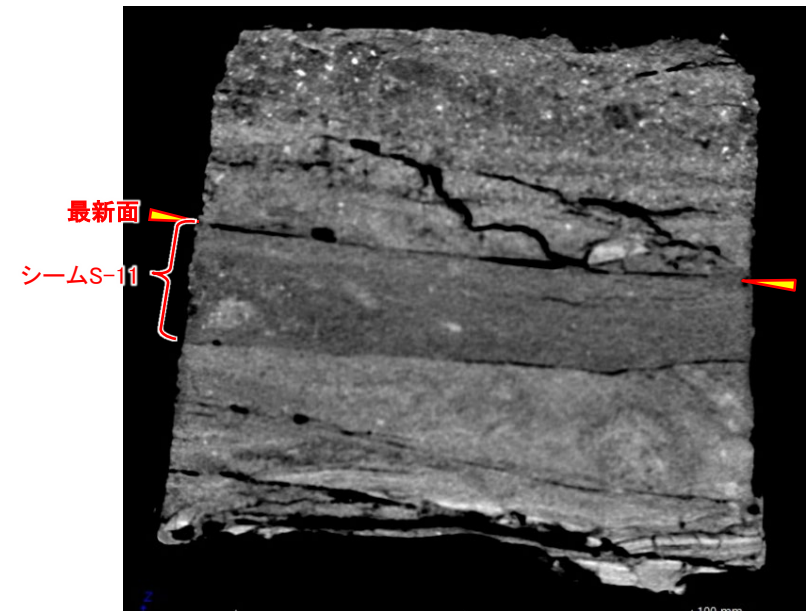
- Ts-6法面のブロック試料 Ts-6-③NにはシームS-11が分布する。
- シームS-11上盤の淡灰色火山礫凝灰岩及び下盤の粗粒凝灰岩は強風化部から成る。
- CT画像では, 最新面はおおむね密着している。

凡例

 : 本日のご観察ブロック試料



試料画像(鉛直切断面)



CT画像(鉛直断面)

3. Ts-6法面付近のコア(7/17)

Ts-6-30孔 深度0m~3m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

- 深度0.84mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度1.53mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

: 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-30 孔口標高: T.P.23.08m 掘削長: 3.00m (1-1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.25	22.83		易国間層上部層	埋土	-	暗灰/暗褐 褐灰・淡灰 /淡黄褐	100	0	0	0.25m~1.53m:風化により軟質化している。 0.82m~0.85m:細粒凝灰岩が分布する。 0.84m:厚さ約3.5cmのシーム(S-11)がある。
1		淡灰色 火山礫凝灰岩			py(W)		100	33	85		
2					20lf	灰黒・灰 /淡黄灰	100	30	100		
3	3.00	20.08									



- 強風化部下限深度: 1.10m
- 弱風化部下限深度: 1.53m

- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(8/17)



Ts-6-31孔 深度0m～3m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部/弱風化部)

- 深度1.67mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度1.84mまで認められ、シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部、下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は弱風化部から成り、シームS-11の上下盤共に強風化部が分布してはいない。

凡例

: 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-31		孔口標高: T.P.23.10m		掘削長: 3.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア 採取 率 (%)	最大 コア 長 (cm)	R Q D (%)	記 事
0	0.25	22.85			壤土		暗灰/暗褐	100			0.25m~1.84m:風化により軟弱化している。
1				島岡層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒+褐灰 /淡黄褐	100	18	18	1.66m~1.68m:細粒凝灰岩が分布する。
2						00:f	灰黒+灰 /淡黄灰	100	70	100	1.67m:厚さ約3.4cmのシーム(S-11)がある。
3	3.00	20.10									



- 強風化部下限深度: 1.68m
- 弱風化部下限深度: 1.84m

- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(9/17)



Ts-6-32孔 深度0m~3m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部/新鮮部)

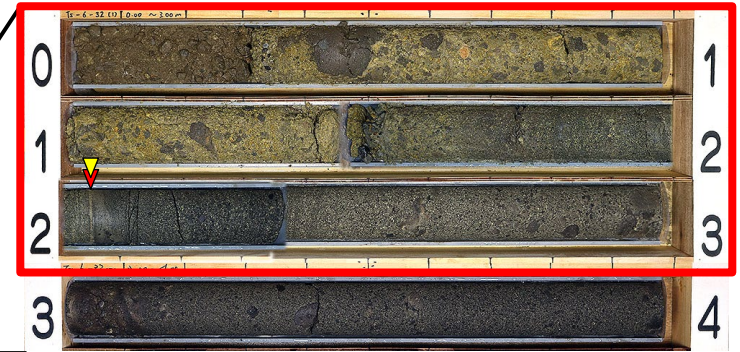
- 深度2.05mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度2.05mまで認められ、シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部、下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成り、シームS-11の上下盤共に強風化部が分布してはいない。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-32 孔口標高: T.P.23.01m 掘削長: 4.00m (1 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.31	22.70	///	-	堆土	-	暗灰/暗褐	100	0	0	0.31m~2.05m:風化により軟質化している。
1			X	易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒・褐灰/淡黄褐	100	5	0	2.05m:厚さ約0.6cmの細粒凝灰岩が分布する。
2			X					100	63	81	2.05m:厚さ約0.6cmのシーム(S-11)がある。
3			X			00t	灰黒-灰/淡黄灰	100	66	100	2.05m~2.09m:粗粒凝灰岩が分布する。
4	4.00	19.01	X					100			



- 強風化部下限深度: 2.05m ▼ 風化部下限(弱風化部はなくすべて強風化部)
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(10/17)



Ts-6-33孔 深度0m~5m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部/新鮮部)

- 深度2.53mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度2.53mまで認められ、シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部、下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成り、シームS-11の上下盤共に強風化部が分布してはいない。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-33		孔口標高: T.P.22.94m		掘削長: 5.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.25	22.69	✕	易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	暗灰/暗褐	100	0	0	0.25m~2.53m:風化により軟弱化している。
1		100					0	0			
2		100					47	47	2.53m~2.54m:細粒凝灰岩が分布する。 2.53m:厚さ約0.8cmのシーム(S-11)がある。		
3		100					66	93			
4		100					45	100			
5	5.00	17.94									



- 強風化部下限深度: 2.53m
- ▼ 風化部下限(弱風化部はなくすべて強風化部)
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(11/17)

Ts-6-34孔 深度0m~5m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

- 深度2.80mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度2.55mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-34		孔口標高: T.P.22.95m		掘削長: 5.00m (1-1)								
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
0	0.23	22.72		埋土			暗灰/暗褐	100			0.23m~2.55m:風化により軟質化している。	
1				易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒・褐灰 /淡黄褐	100	0	0		
2								100	36	54		
3						abl(F)	灰黒・灰/淡黄灰	100	34	71		2.77m~2.84m:細粒凝灰岩が分布する。 2.80m:厚さ約7.2cmのシーム(S-11)がある。
4								100	29	71		
5	5.00	17.95					100					



- 強風化部下限深度: 2.23m
- 弱風化部下限深度: 2.55m

- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(12/17)

Ts-6-35孔 深度0m~5m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

- 深度3.14mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度2.90mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

: 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-35		孔口標高: T.P.22.93m		掘削長: 5.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.25	22.68		-	埋土	-	暗灰/暗褐	100			0.25m~2.90m:風化により軟質化している。
1				易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	py(W)	褐灰・灰黒/淡黄褐	100	0	0	
2								100	20	20	
3								100	23	43	3.12m~3.17m:細粒凝灰岩が分布する。 3.14m:厚さ約3.8cmのシーム(S-11)がある。 3.17m~3.30m:粗粒凝灰岩が分布する。
4						dkf	灰黒・灰/淡黄灰	100	53	95	
5	5.00	17.93						100			



- 強風化部下限深度: 2.75m
- 弱風化部下限深度: 2.90m

- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(13/17)

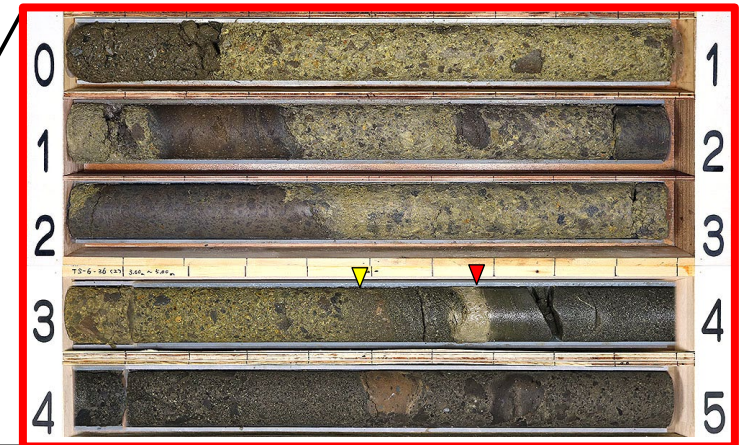
Ts-6-36孔 深度0m~5m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

- 深度3.67mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度3.48mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-36		孔口標高: T.P.22.82m		掘削長: 5.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.25	22.57		-	埋土	-	暗灰/暗褐	100	0	0	0.25m~3.48m:風化により軟質化している。
1				易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒+褐灰 /淡黄褐	100	0	0	3.64m~3.70m:粗粒凝灰岩が分布する。 3.67m:厚さ約4.5cmのシーム(S-11)がある。 3.70m~3.81m:粗粒凝灰岩が分布する。
2								100	33	33	
3						100	14	34			
4						100	49	90			
5	5.00	17.82									



- 強風化部下限深度: 3.48m ▼ 風化部下限(弱風化部はなくすべて強風化部)
- ▼ シームS-11

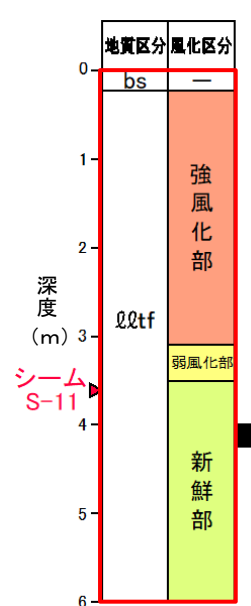
注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(14/17)



Ts-6-22孔 深度0m~6m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

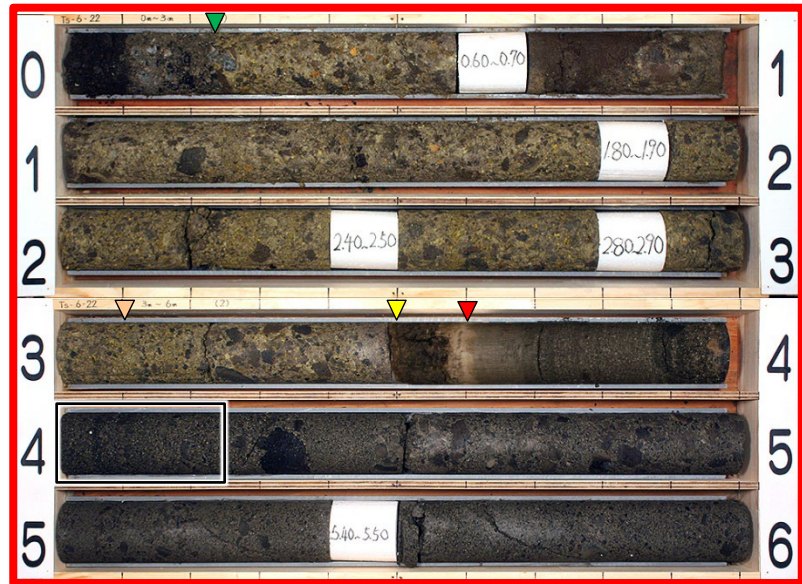
- 深度3.61mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度3.50mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。



凡例

bs	埋土
㊦	淡灰色火山礫凝灰岩
■	分析試料採取位置

凡例
□ : 本日のご観察コア



- 強風化部下限深度: 3.10m
- 弱風化部下限深度: 3.50m
- ▼ 岩盤上面
- ▼ 強風化部下限
- ▼ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▼ シームS-11
- 分析試料採取位置

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(15/17)

Ts-6-37孔 深度3m~6m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

- 深度4.81mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度3.80mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

: 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-37			孔口標高: T.P.22.83m			掘削長: 6.00m (1-1)						
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
0	0.23	22.60		埋土			暗灰/暗褐	100	0	0	0.23m~3.80m:風化により軟弱化している。	
1				py(W)		灰黒・褐灰 / 淡黄褐	100	0	0			
2							100	0	0			
3				島国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	aBif	灰黒/淡黄灰	100	23	56	4.80m~4.82m:細粒凝灰岩が分布する。 4.81m:厚さ約1.2cmのシーム(S-11)がある。	
4								100	40	77		
5								100	36	100		
6	6.00	16.83										



- 強風化部下限深度: 3.45m
- 弱風化部下限深度: 3.80m

- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡ステロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(16/17)

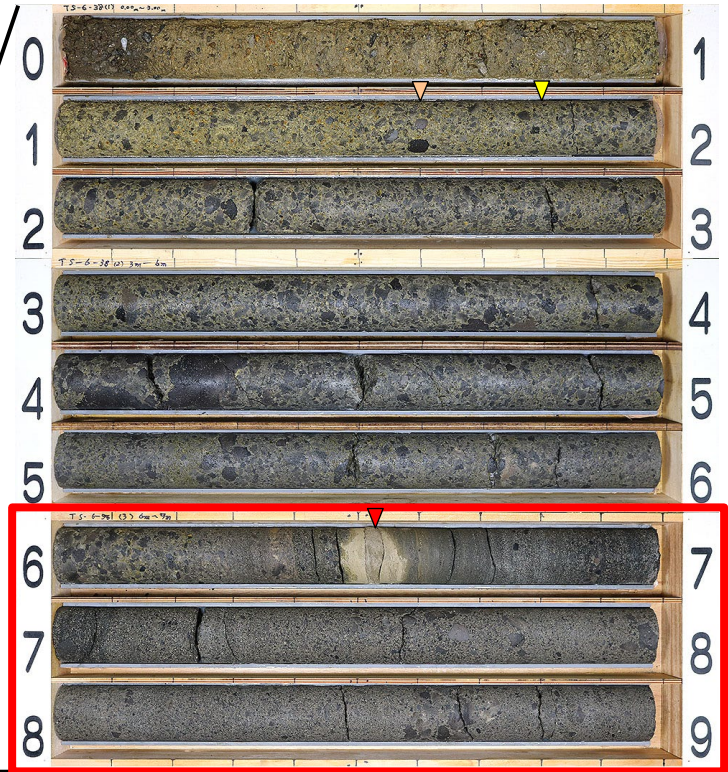
Ts-6-38孔 深度6m~9m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

- 深度6.53mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度1.80mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-6-38			孔口標高: T.P.22.84m			掘削長: 9.00m (1-1)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.14	22.70	✕✕✕	易固間層上部層	埋土	py(W)	暗灰/暗褐	100			0.14m~1.80m:風化により軟質化している。
1		褐灰・灰黒/淡黄褐					100	17	31		
2							100	49	94		
3							100	89	100		
4							100	28	99		
5							100	49	100		
6			✕✕✕			00rf	灰黒/淡黄灰	100	42	82	6.48m~6.56m:細粒凝灰岩が分布する。 6.53m:厚さ約3.2cmのシーム(S-11)がある。
7		100					42	89			
8		100					48	98			
9	9.00	13.84					100	48	98		



- 強風化部下限深度: 1.60m
- 弱風化部下限深度: 1.80m
- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限
- ▽ シームS-11


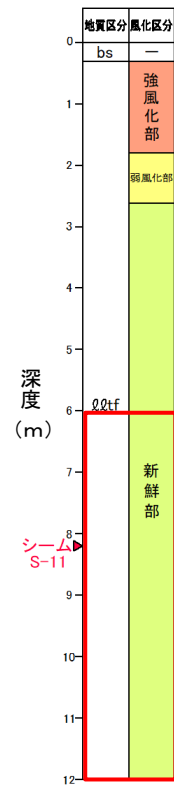
注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

3. Ts-6法面付近のコア(17/17)

Ts-6-23孔 深度6m~12m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

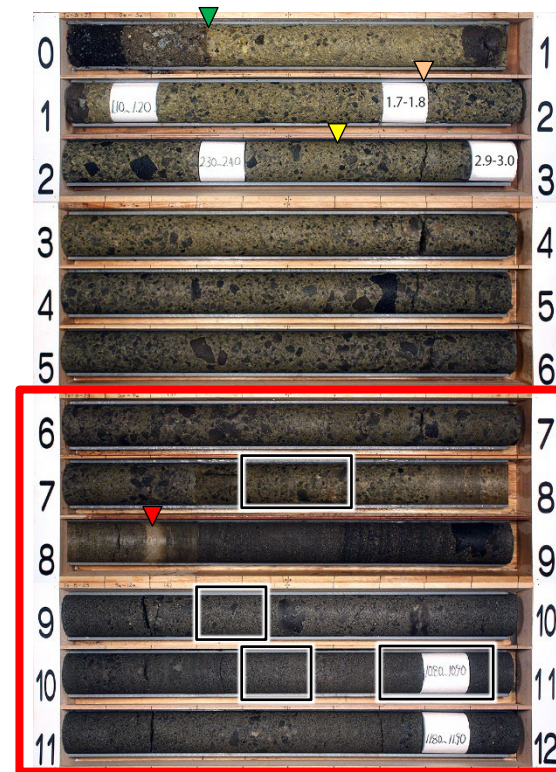
- 深度8.20mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度2.62mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 :本日のご観察コア


凡例

bs	埋	土
0&tf	淡灰色火山礫凝灰岩	
■	分析試料採取位置	



- 強風化部下限深度:1.80m
- 弱風化部下限深度:2.62m
- ▼ 岩盤上面
- ▽ 強風化部下限
- ▼ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▼ シームS-11
- 分析試料採取位置

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(1/11)

「4.」の提示コア一覧表

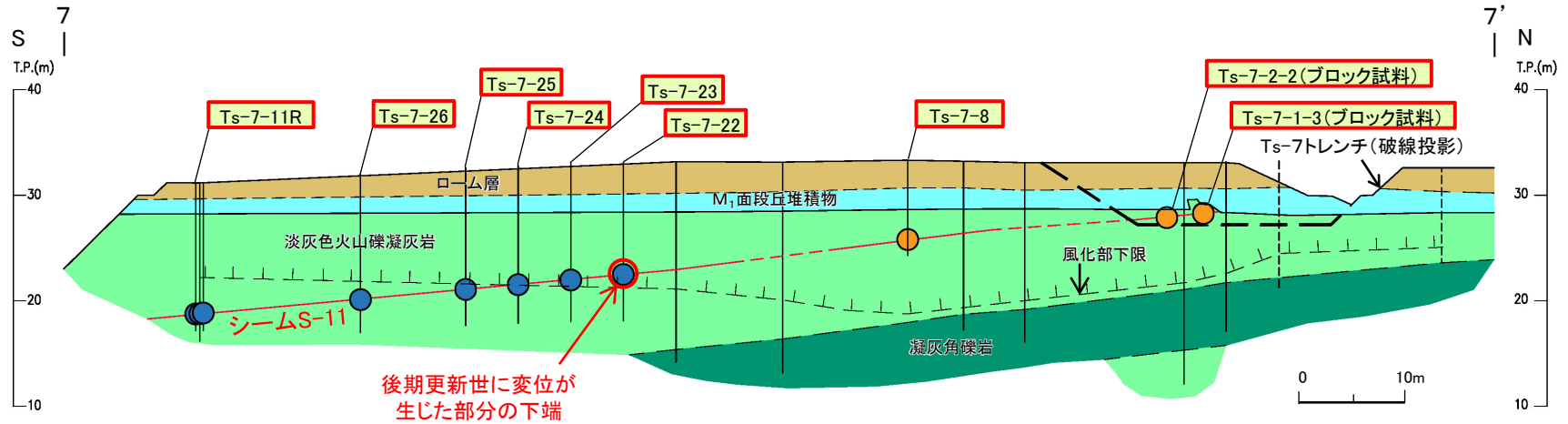
対象	No.	孔名	深度区間 (m)	岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
④Ts-7 トレンチ 付近のコア	27	Ts-7-1-3	ブロック試料	シームS-11及び周辺 の岩盤(淡灰色火山礫 凝灰岩)	有り	-	42	追加調査結果を審査会合資料として 今後ご説明予定	ブロック試料Ts-7-1-2の近傍で採取
	28	Ts-7-2-2	ブロック試料		有り	-	43		ブロック試料Ts-7-2-4の近傍で採取
	29	Ts-7-8	6 ~ 9		有り	7.50	44		
	30	Ts-7-22	9 ~ 12		有り	10.61	45		
	31	Ts-7-23	9 ~ 12		有り	11.05	46		
	32	Ts-7-24	9 ~ 12		有り	11.32	47		
	33	Ts-7-25	9 ~ 15		有り	11.61	48		
	34	Ts-7-26	9 ~ 15		有り	11.88	49		
	35	Ts-7-11R	9 ~ 14	有り	12.40	50			

4. Ts-7トレンチ付近のコア(2/11)

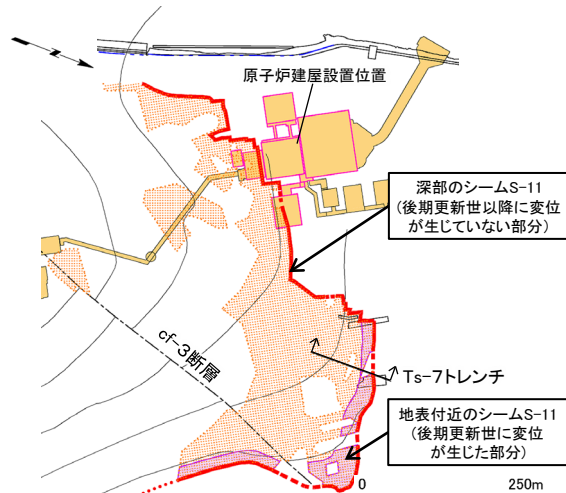
観察対象コア・ブロック試料の位置

Ts-7トレンチ付近の断面図に示す7孔のボーリングコア及びトレンチの2箇所から採取されたブロック試料で、後期更新世に変位が生じた部分／後期更新世以降に変位が生じていない部分のシームS-11及びその上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の岩盤性状(風化程度)を観察する。

凡例
 : 本日のご観察コア

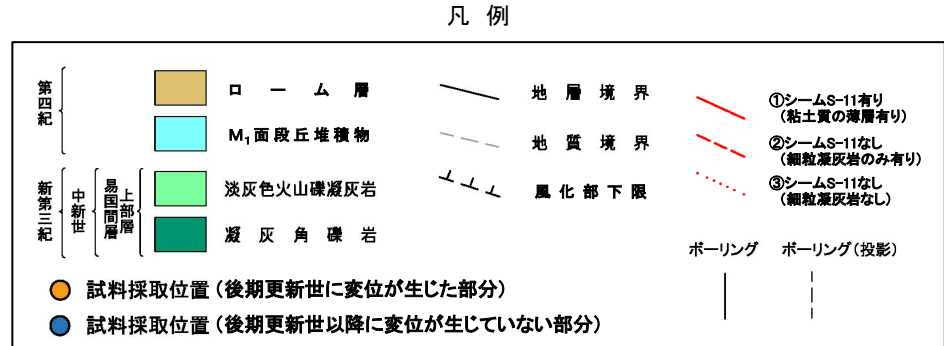


Ts-7トレンチ付近の断面図



断面位置

本図のFT5-3/ctf等層準は2022年度撮影の航空写真を基に作成。



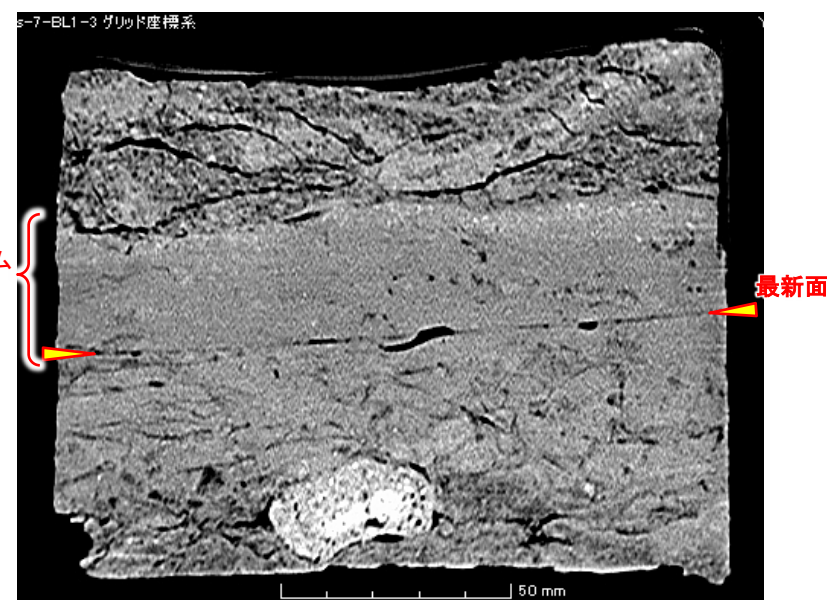
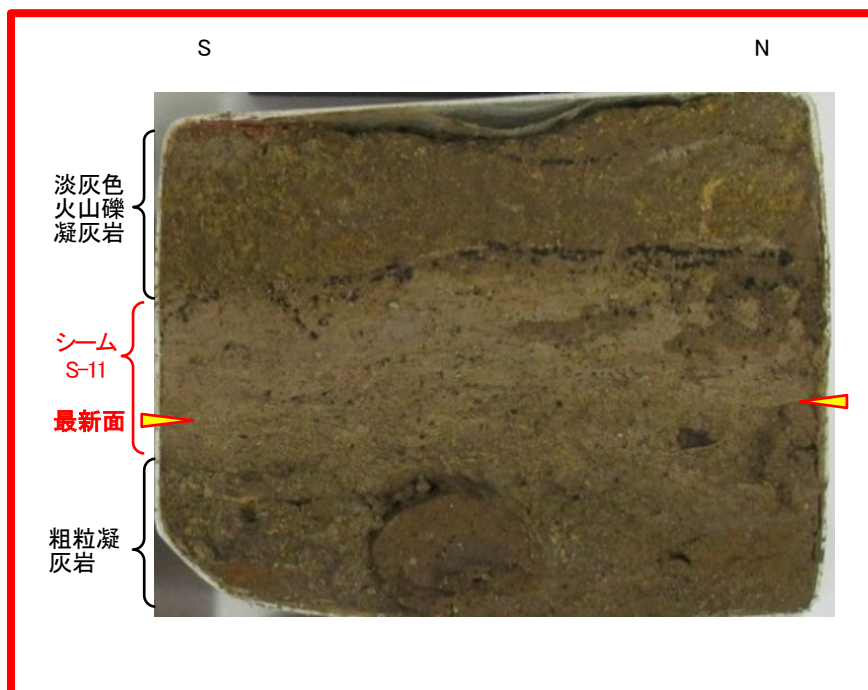
4. Ts-7トレンチ付近のコア(3/11)

Ts-7-1-3(ブロック試料):後期更新世に「変位が生じた」シームS-11(強風化部)

- Ts-7トレンチのブロック試料Ts-7-1-3にはシームS-11が分布する。
- シームS-11上盤の淡灰色火山礫凝灰岩及び下盤の粗粒凝灰岩は強風化部から成る。
- CT画像では, 最新面はシャープで一部開口している。

凡例

: 本日までのご観察ブロック試料



CT画像(鉛直断面)



試料画像(鉛直切断面)

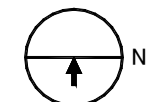
4. Ts-7トレンチ付近のコア(4/11)

Ts-7-2-2(ブロック試料): 後期更新世に「変位が生じた」シームS-11(強風化部)

- Ts-7トレンチのブロック試料 Ts-7-2-2にはシームS-11が分布する。
- シームS-11上盤の淡灰色火山礫凝灰岩及び下盤の粗粒凝灰岩は強風化部から成る。
- CT画像では, 最新面はシャープで一部開口している。

凡例

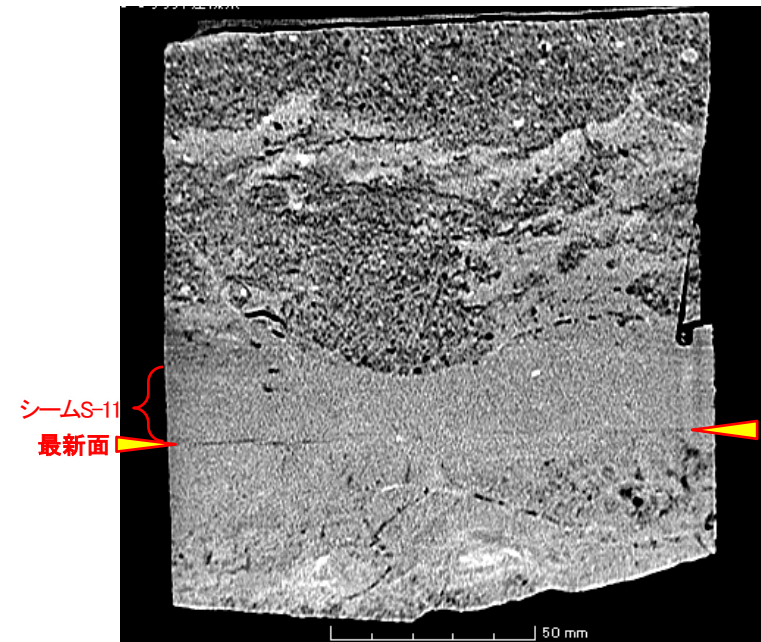
: 本日のご観察ブロック試料



写真撮影方向



試料画像(鉛直切断面)




CT画像(鉛直断面)

4. Ts-7トレンチ付近のコア(5/11)

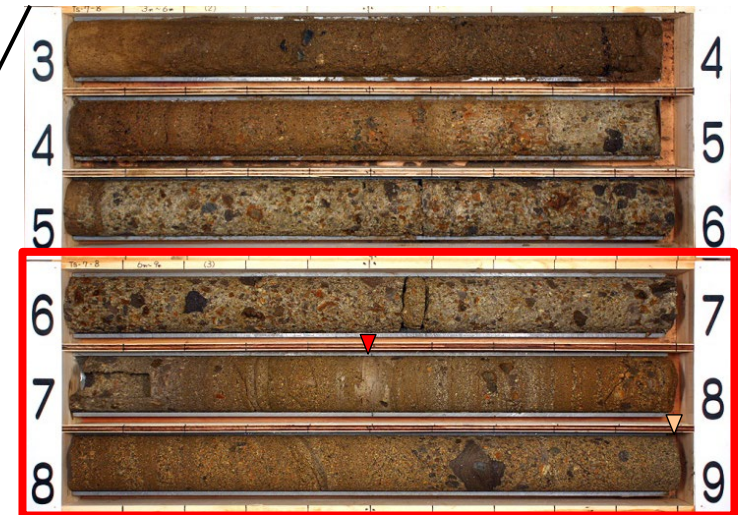

Ts-7-8孔 深度6m～9m:後期更新世に「変位が生じた」シームS-11(強風化部)


- 深度7.50mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度9.00mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-7-8		孔口標高: T.P.33.30m		掘削長: 9.00m		(1 - 1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事		
0	0.50	32.80	Y Y	第四系	腐植土		褐黒	100					
1					ローム		褐	100					
2								100					
3	3.12	30.18		段丘堆積物			暗灰/暗褐	100			4.21m～9.00m: 風化により軟質化している。		
4	4.21	29.09						100					
5								100					
6				易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒/淡黄褐	100			7.48m～7.51m: 細粒凝灰岩が分布する。 7.50m: 厚さ約2.8cmのシーム(S-11)がある。		
7										100			
8										100			
9	9.00	24.30											


 強風化部下限(孔底まで強風化部)

 シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(6/11)

Ts-7-22孔 深度9m~12m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

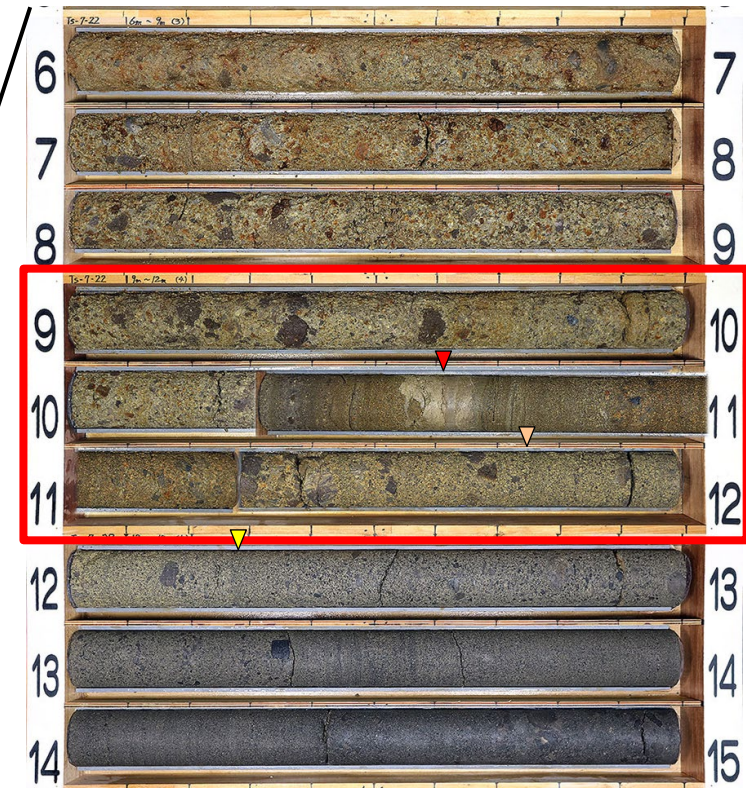
- 深度10.61mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度12.28mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-7-22 孔口標高: T.P.33.10m 掘削長: 15.00m (1 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	記事	
								0	0	0	0	0		
0	0.66	32.44	YY	第四系	腐植土		黒褐	100						
1					ローム		褐	100						
2									100					
3	3.04	30.06							100					
4				段丘堆積物			暗灰/暗褐	100						
5	4.71	28.39						100					4.71m~12.28m:風化により軟質化している。	
6				易固間層上部層				0	0	0	0	0		
7								100	0	0	0	0		
8						py(W)		褐灰・暗褐/淡黄褐	100	0	0	0	0	
9									100	0	0	0	0	
10				易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩			100	0	0	0	0	10.55m~10.65m:細粒凝灰岩が分布する。 10.61m:厚さ約2.0cmのシーム(S-11)がある。	
11									100	0	0	0	0	
12										100	10	10	10	
13				易固間層上部層				100	49	88	88	88		
14									100	37	100	100	100	
15	15.00	18.10					llt		灰黒/淡黄灰	100	53	95	95	



- 強風化部下限深度: 11.75m
- 弱風化部下限深度: 12.28m
- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(7/11)

Ts-7-23孔 深度9m~12m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

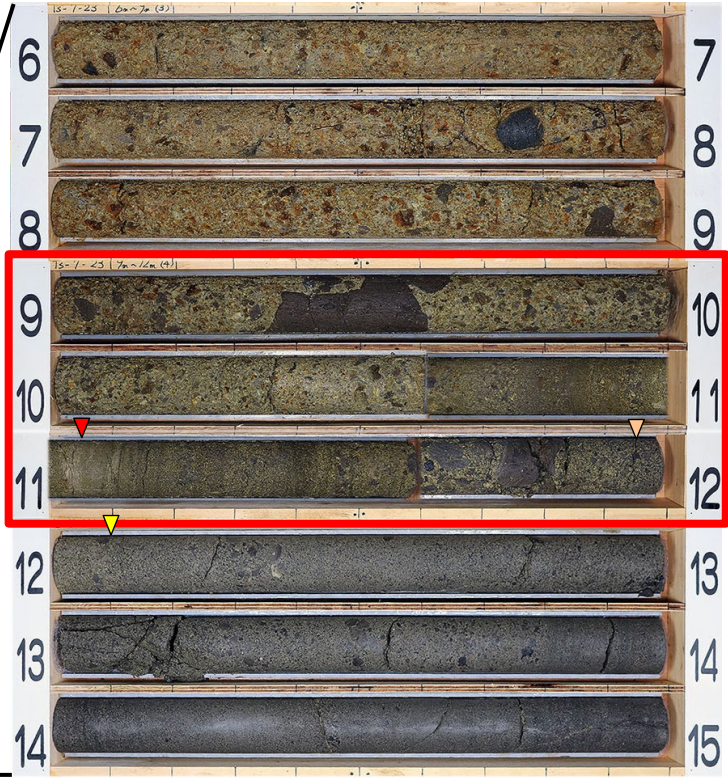
- 深度11.05mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度12.10mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-7-23 孔口標高: T.P.33.02m 掘削長: 15.00m (1 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.68	32.34	YY	第四系	腐植土		黒褐	100			
1					ローム		褐	100			
2								100			
3	2.98	30.04			段丘堆積物		暗灰/暗褐	100			
4	4.44	28.58						0	0		4.44m~12.10m:風化により軟質化している。
5								0	0		
6								0	0		
7								0	0		
8						py(W)	褐灰・暗灰/淡黄褐	0	0		
9				島国間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩			100	0	0	
10			100					0	0		
11			100					0	0	11.03m~11.11m:細粒凝灰岩が分布する。 11.05m:厚さ約1.1cmのシーム(S-11)がある。	
12								100	38	88	
13								100	36	71	
14						00tf	灰黒/淡黄灰	100	45	100	
15	15.00	18.02						100			



- 強風化部下限深度: 11.95m
- 弱風化部下限深度: 12.10m
- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(8/11)

Ts-7-24孔 深度9m~12m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

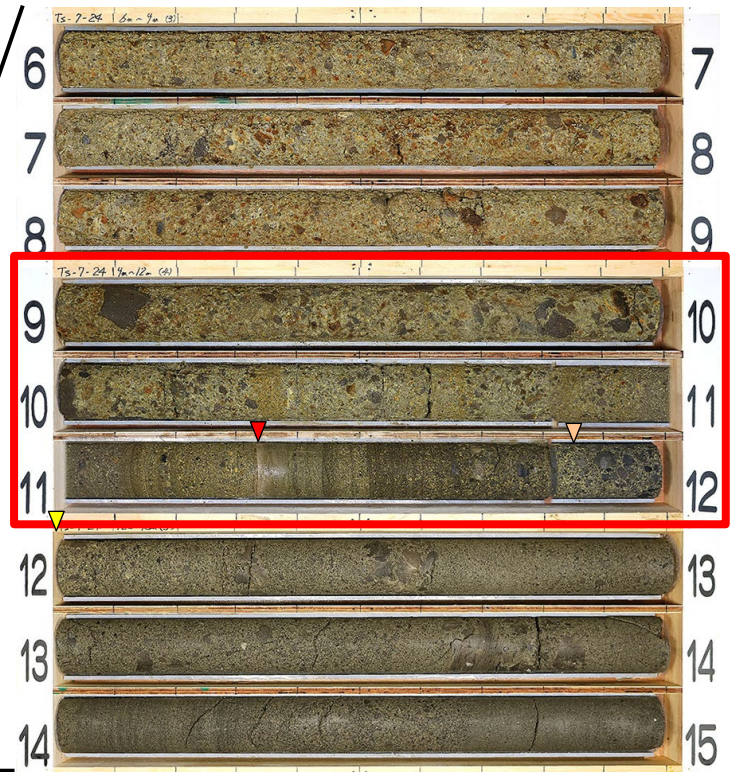
- 深度11.32mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度12.00mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-7-24 孔口標高: T.P.32.84m 掘削長: 15.00m (1 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.60	32.24	Y Y	第四系	腐植土		黒褐	100			
1					ローム		褐	100			
2	2.74	30.10			段丘堆積物		暗灰/暗褐	100			
3	4.34	28.50						100			4.34m~12.00m: 風化により軟弱化している。
4								0	0	0	
5								100	0	0	
6								100	0	0	
7								100	0	0	
8						py(w)	褐灰・暗灰/淡黄褐	100	0	0	
9				島国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩			100	0	0	
10			100					0	0		
11								100	15	15	11.32m~11.37m: 細粒凝灰岩が分布する。 11.32m: 厚さ約1.8cmのシーム(S-11)がある。
12								100	37	90	
13								100	38	94	
14								100	35	89	
15	15.00	17.84						100			



- 強風化部下限深度: 11.85m
- 弱風化部下限深度: 12.00m
- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(9/11)



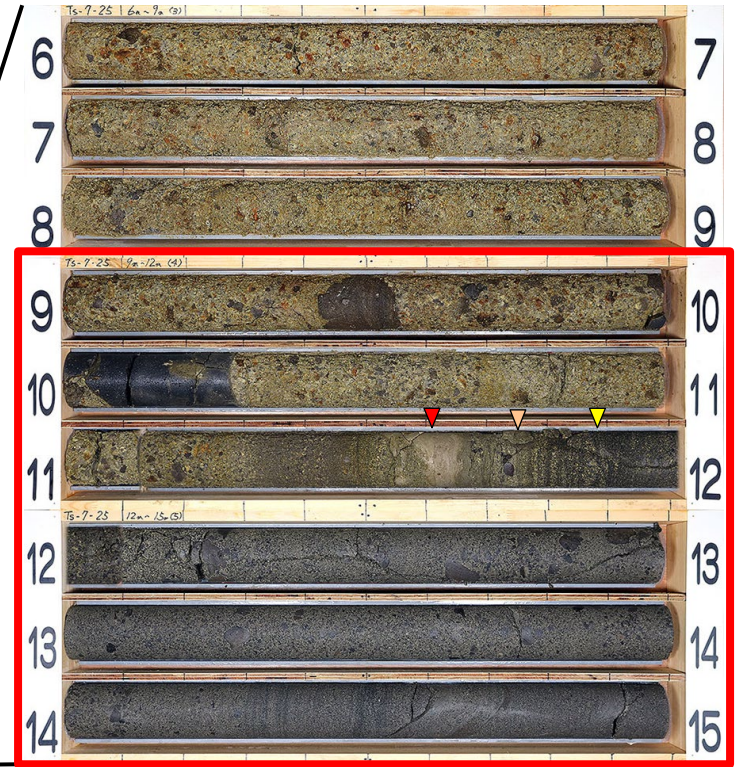
Ts-7-25孔 深度9m~15m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(強風化部)

- 深度11.61mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度11.88mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は強風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-7-25			孔口標高: T.P.32.63m			掘削長: 15.00m (1 - 1)						
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
0	0.52	32.11	YY	第四系	腐植土		黒褐	100			4.14m~11.88m:風化により軟質化している。	
1			⊘		ローム		褐	100				
2	2.43	30.20	⊘		段丘堆積物		暗灰/暗褐	100				
3			⊘					暗灰/暗褐	100			
4	4.14	28.49	⊘					0	0			
5			⊗					0	0			
6			⊗					0	0			
7			⊗					0	0			
8			⊗			py(W)	褐灰-暗褐/淡黄褐	0	0	0		
9			⊗	易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩			100	0	0	11.58m~11.64m:細粒凝灰岩が分布する。 11.61m:厚さ約3.5cmのシーム(S-11)がある。	
10			⊗						0	0		0
11			⊗						0	20		20
12			⊗						100	44		100
13			⊗			ggf	灰黒/淡黄灰	100	76	100		
14			⊗					100	57	93		
15	15.00	17.63	⊗					100	57	93		



- 強風化部下限深度: 11.75m ▽ 強風化部下限
- 弱風化部下限深度: 11.88m ▽ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(10/11)



Ts-7-26孔 深度9m~15m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(弱風化部/新鮮部)

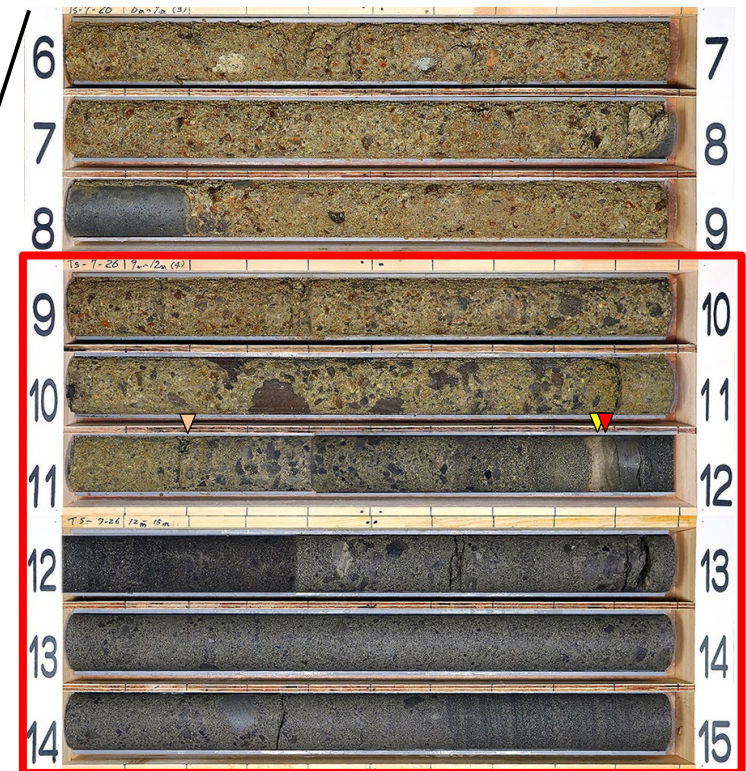
- 深度11.88mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度11.87mまで認められ、シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩は弱風化部、下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成り、シームS-11の上下盤共に強風化部が分布してはいない。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: Ts-7-26 孔口標高: T.P.31.98m 掘削長: 15.00m (1 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア採取率 (%)		最大 コア長 (cm)	R Q D (%)	記 事
								0	100			
0	0.64	31.34	YY	第四系	腐植土		黒褐	100	100			
1					ローム		褐	100	100			
2	2.04	29.94			段丘堆積物		暗灰/暗褐	100	100			
3	3.52	28.46						100	100			3.52m~11.87m:風化により軟質化している。
4								100	100			
5								100	100			
6								100	100			
7						py(w)	褐灰・暗褐 /淡黄褐	100	100			
8								100	100			
9				島国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩			100	100			
10								100	100			
11								100	100			
12								100	100			11.87m~11.91m:細粒凝灰岩が分布する。 11.88m:厚さ約1.5cmのシーム(S-11)がある。
13								100	100			
14						alt	灰黒/淡黄灰	100	100			
15	15.00	16.98						100	100			



- 強風化部下限深度: 11.20m
- 弱風化部下限深度: 11.87m
- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限(弱風化部下限)
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

4. Ts-7トレンチ付近のコア(11/11)

Ts-7-11R孔 深度9m~14m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(新鮮部)

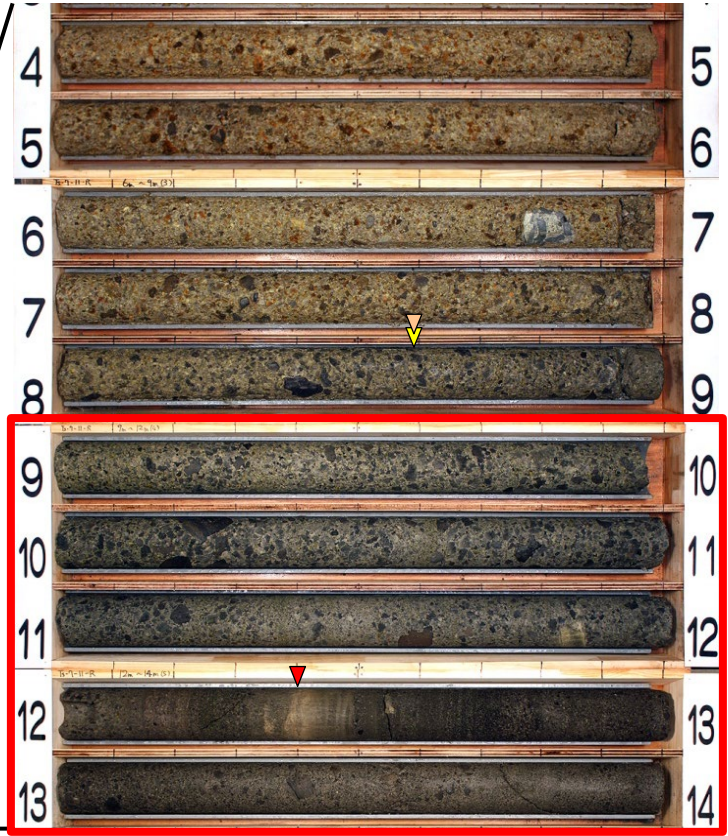
- 深度12.40mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度8.59mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日まで観察コア

孔名: Ts-7-11R 孔口標高: T.P.31.14m 掘削長: 14.00m (1-1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.61	30.53	YY	第四系	腐植土		黒褐	100			2.87m~8.59m:風化により軟質化している。
1	1.46	29.68	○		ローム		褐	100			
2	2.87	28.27	○		段丘堆積物		暗灰/暗褐	100			
3			×	易国間層 上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒/淡黄褐	100			12.38m~12.42m:細粒凝灰岩が分布する。 12.40m:厚さ約1.0cmのシーム(S-11)がある。
5			×					100			
6			×					100			
7			×					100			
8			×					100	35	35	
9			×					100	100	100	
10			×					100	100	100	
11			×					100	100	100	
12			×					100	45	100	
13			×					100	76	100	
14	14.00	17.14	×								



- 強風化部下限深度: 8.59m
- 弱風化部下限深度: 8.59m
- ▽ 強風化部下限
- ▽ 風化部下限(弱風化部なし)
- ▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

5. Tf-5(a)トレンチのコア(1/5)

「5.」の提示コア一覧表

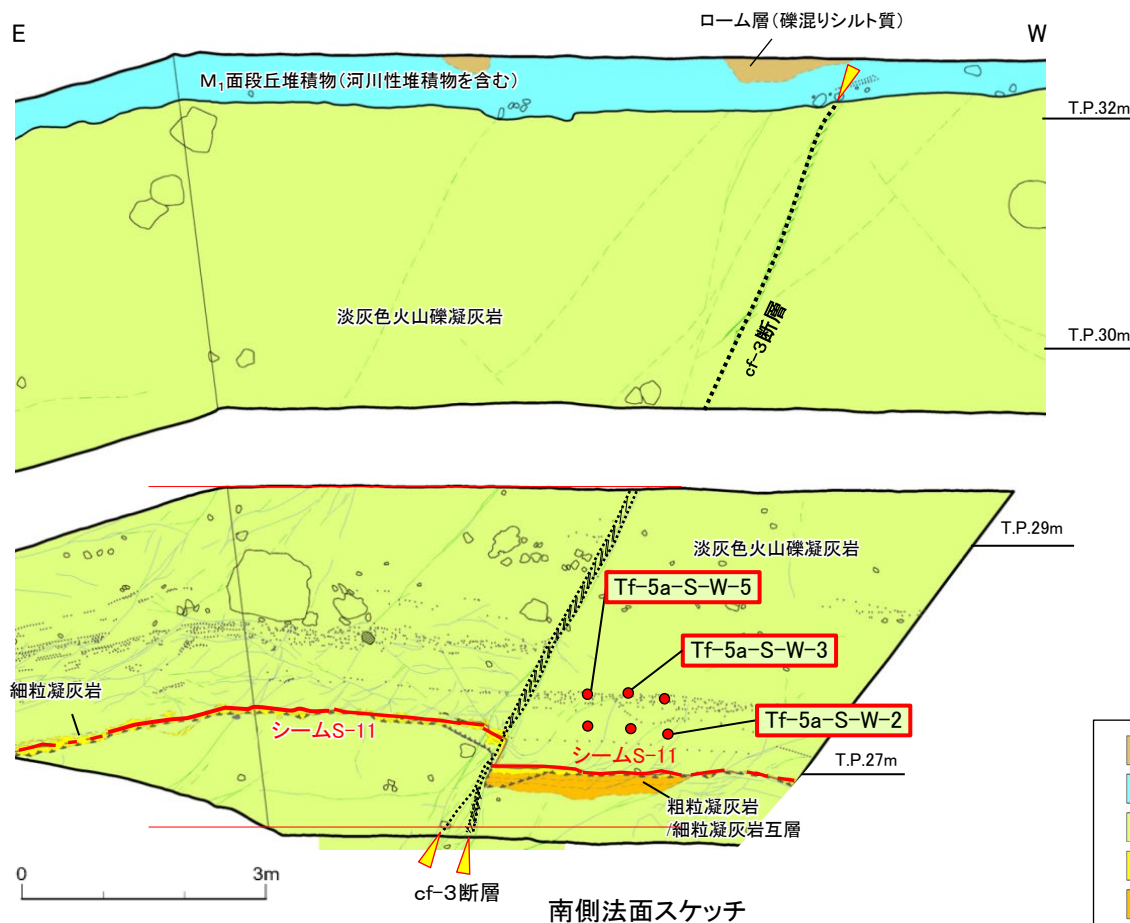
対象		No.	孔名	深度区間 (m)		岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
⑤Tf-5(a) トレンチ 付近のコア	後期更新世以降に 変位が生じていない シームS-11 及び岩盤性状 (弱風化部)	36	Tf-5a-S-W-2	0	~ 1	シームS-11及び周辺 の岩盤(淡灰色火山礫 凝灰岩)	有り	0.52	53	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-12頁	
		37	Tf-5a-S-W-3	0	~ 1.5		有り	1.15	54	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-13頁	
		38	Tf-5a-S-W-5	0	~ 1.5		有り	1.10	55	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 13-14頁	



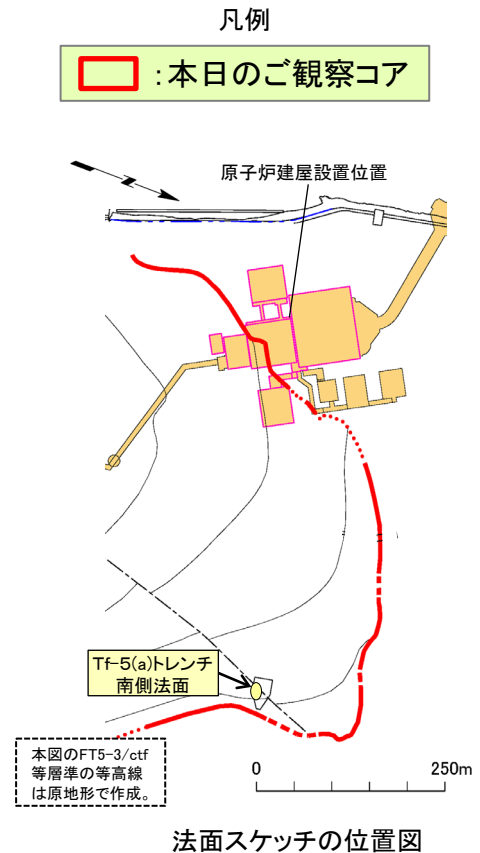
5. Tf-5(a)トレンチのコア(2/5)

観察対象孔の位置：南側法面スケッチ

シームS-11がcf-3断層により切断されているTf-5(a)トレンチの3孔のボーリングコアを対象として、後期更新世以降に変位が生じていない部分のシームS-11及びその上下盤の岩盤性状(風化程度)を観察する。



南側法面スケッチ



法面スケッチの位置図

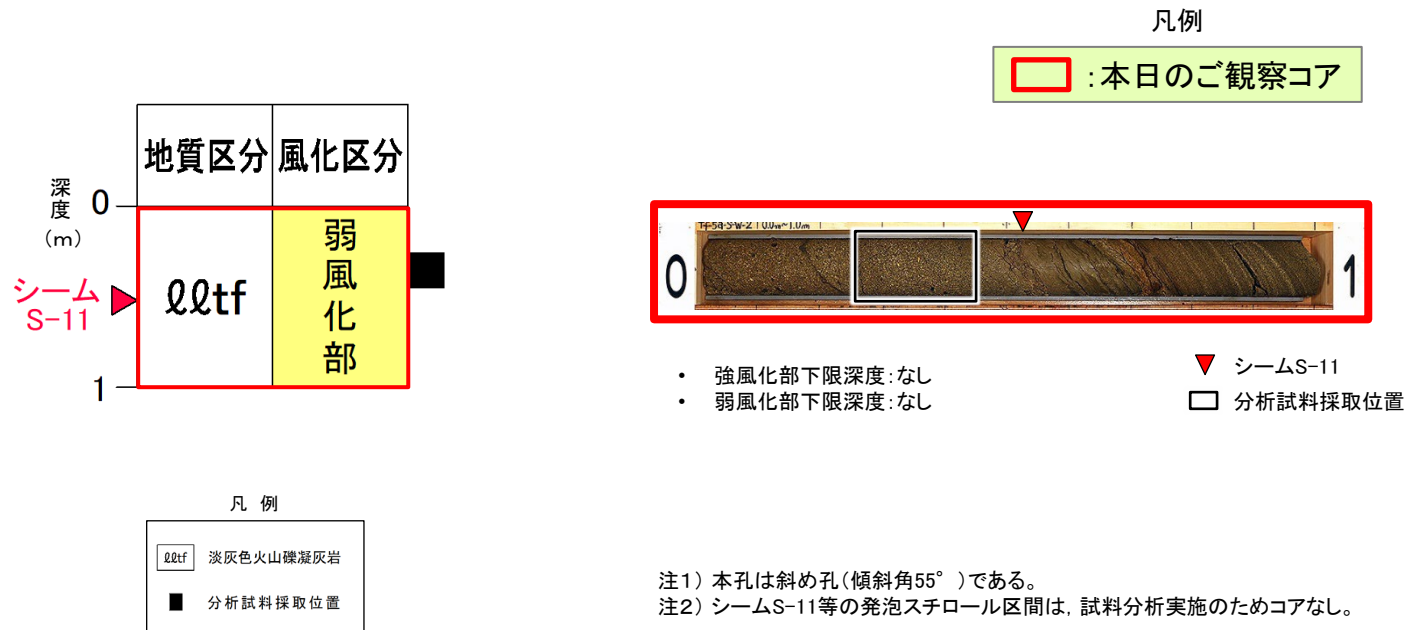
法面スケッチ凡例

ローム層(礫混リシルト質)	cf-3断層	シームS-11
M1面段丘堆積物(河川性堆積物を含む)	地層境界	礫(φ5cm以上)
淡灰色火山礫凝灰岩	地質境界	葉理
細粒凝灰岩	筋状構造	風化部下限
粗粒凝灰岩/細粒凝灰岩互層	割れ目	トレンチ内ボーリング

5. Tf-5(a)トレンチのコア(3/5)

Tf-5a-S-W-2孔 深度0m~1m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(弱風化部)

- 深度0.52mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は弱風化部から成る。


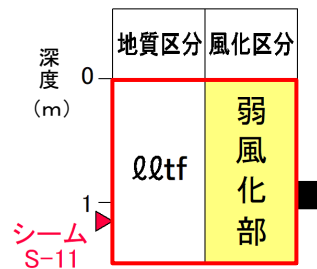


5. Tf-5(a)トレンチのコア(4/5)

Tf-5a-S-W-3孔 深度0m~1.5m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(弱風化部)

- 深度1.15mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は弱風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア


- 強風化部下限深度: なし
- 弱風化部下限深度: なし

▼ シームS-11
□ 分析試料採取位置

凡例

QQtF	淡灰色火山礫凝灰岩
■	分析試料採取位置

注1) 本孔は斜め孔(傾斜角45°)である。


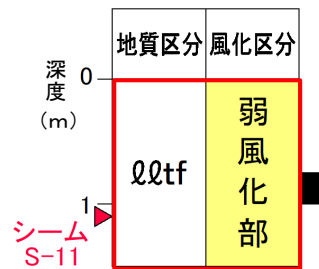
注2) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

5. Tf-5(a)トレンチのコア(5/5)

Tf-5a-S-W-5孔 深度0m~1.5m:後期更新世以降に「変位が生じていない」シームS-11(弱風化部)

- 深度1.10mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は弱風化部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア


- 強風化部下限深度:なし
- 弱風化部下限深度:なし

- ▼ シームS-11
- 分析試料採取位置

凡例

lltf	淡灰色火山礫凝灰岩
■	分析試料採取位置

注1) 本孔は斜め孔(傾斜角45°)である。

注2) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(1/21)

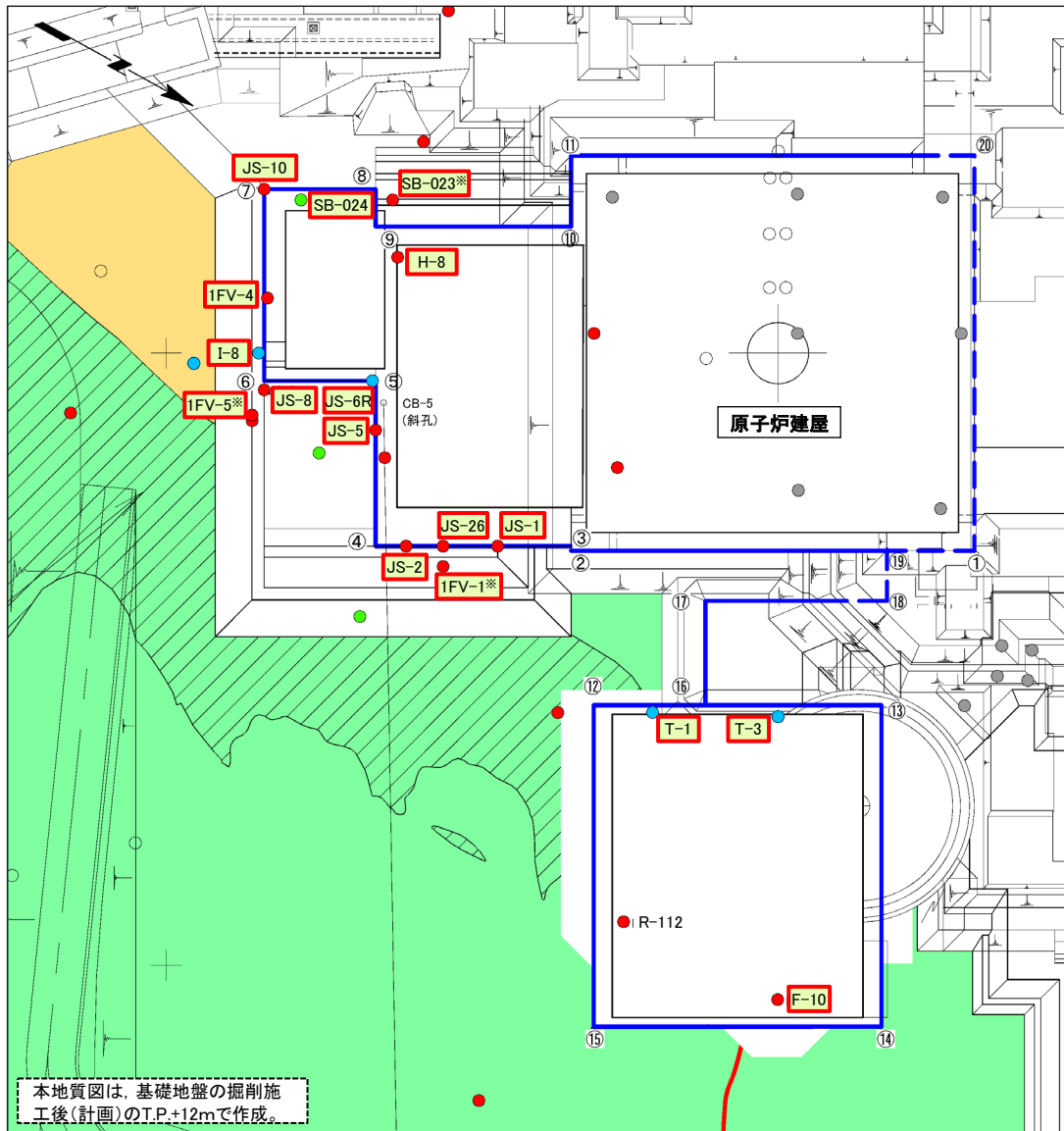
「6.」の提示コア一覧表

対象	No.	孔名	深度区間 (m)		岩種等	シームS-11 の有無	FT5-3/ctf等 層準深度 (m)	掲載頁	審査資料 掲載頁	備考
⑥重要施設 基礎地盤側面 付近のコア	39	JS-1	3	～ 6	シームS-11及び 周辺の岩盤(淡灰色 火山礫凝灰岩)	有り	3.88	60	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-3頁	
	40	JS-26	3	～ 6		有り	4.53	61	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-4頁	
	41	JS-2	3	～ 6		有り	4.95	62	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-5頁	
	42	JS-5	3	～ 6		有り	5.20	63	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-6頁	
	43	JS-6R	3	～ 6		なし	5.56	64	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-7頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
	44	JS-8	3	～ 8		有り	6.43	65	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-8頁	
	45	I-8	9	～ 15		なし	11.42	66	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-9頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
	46	1FV-4	3	～ 9		有り	6.14	67	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-10頁	
	47	JS-10	3	～ 8		有り	6.22	68	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-11頁	
	48	SB-024	3	～ 6		なし	5.78～5.79	69	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-12頁	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
	49	H-8	9	～ 12		有り	9.38	70	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-14頁	
	50	1FV-1	3	～ 6		有り	4.57	71	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-19頁	
	51	1FV-5	3	～ 7		有り	6.61	72	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-20頁	
	52	SB-023	3	～ 6		有り	4.72	73	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-13頁	
	53	T-1	9	～ 15		なし	11.86～11.90	74	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-15頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
54	T-3	6	～ 9	なし	7.32～7.39	75	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-16頁	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)		
55	F-10	6	～ 12	有り	9.19	76	第1043回審査会合資料(2022.4.22) 補足説明資料 12-17頁			



6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(2/21)

観察対象孔の位置:重要施設付近の平面図



審査資料の再チェックを行い、「重要施設付近の平面図の表示」を修正した。

重要施設側面付近の17孔のボーリングコアを対象として、シームS-11及びその付近の岩盤性状を観察する。

凡例

 : 本日のご観察コア

- ①シームS-11有り(粘土質の薄層有り)
- ②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)
- ③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)
- FT5-3/ctf等層準まで到達しない
または シームS-11の有無が不明な孔
- 侵食によりFT5-3/ctf等層準が分布しない孔

第四紀 ■ ローム層, 段丘堆積物

新第三紀 ■ 淡灰色火山礫凝灰岩

 風化部

— 地質境界

— シーム S-11

— 側壁地質図表示位置
(破線は重要な安全機能を有する施設の側壁の岩盤が掘削除去される区間)

① 交点

※: 断面図に使用しないため近傍の孔として参考に提示する。

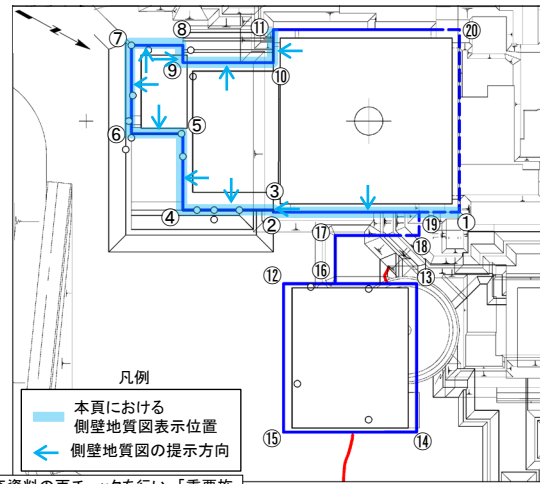
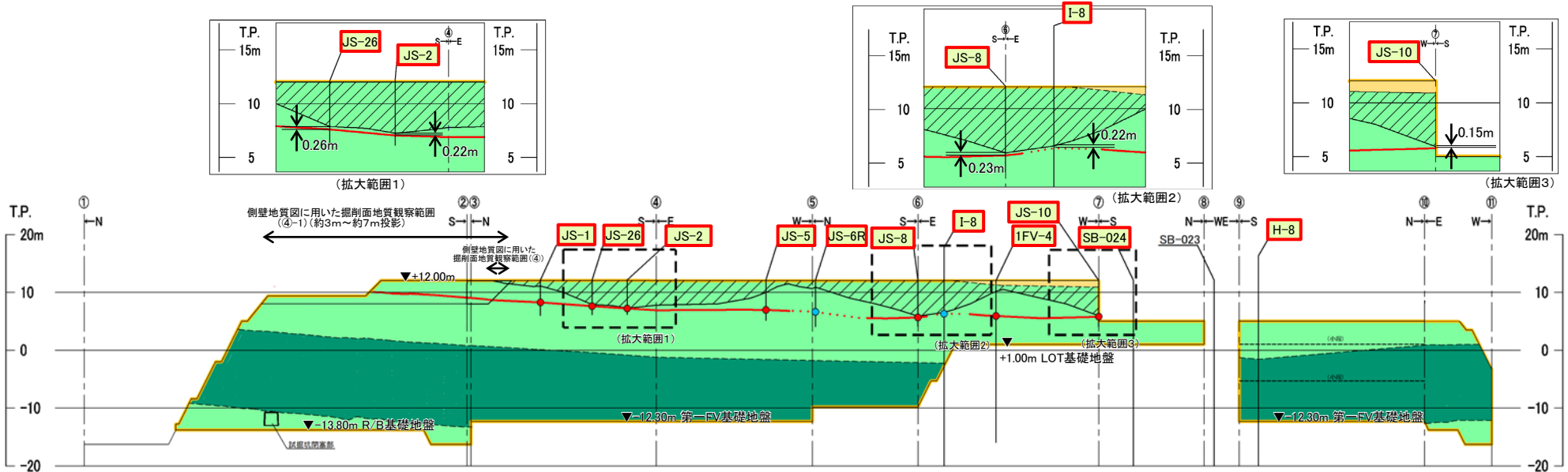


6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(3/21)

観察対象孔の位置: 重要施設付近の側壁地質図(1/2)

- 側壁地質図①～⑪に示す位置で、11孔のシームS-11及びその付近の岩盤性状を観察する。
- シームS-11は淡灰色火山礫凝灰岩の風化部下限に近接するものの接することはなく、新鮮部に分布することを確認する。

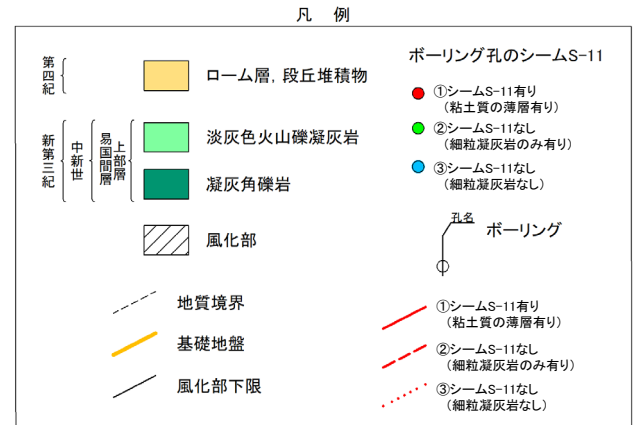
凡例
 : 本日のご観察コア



側壁地質図①～⑪(原子炉建屋東側～第一フィルタベント建屋～軽油タンク)

0 20m

- 注1) 各建屋の略称は、R/B:原子炉建屋、第一FV:第一フィルタベント建屋、LOT:軽油タンク、T/B:タービン建屋。
 注2) 区間①～②におけるR/B東側のシームS-11北端でシームS-11が途切れているが、これはFA/B～T/B分岐連絡トレンチ等の掘削により岩盤が除去されたためである。掘削面が東方(紙面の奥側)へ回り込んだ先にシームS-11は分布しないため検討対象外とする。
 注3) 断面図でシームS-11が屈曲して見える部分については、シームS-11の走向や断面方向が変化することによるものであり、シームS-11の変位・変形によるものではない。



審査資料の再チェックを行い、「重要施設側壁地質図」での表示を修正した。

位置図

0 40m

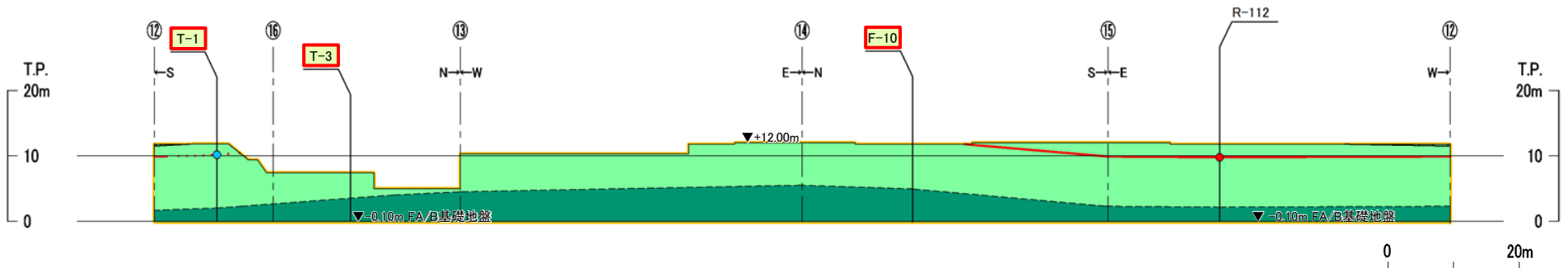
6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(4/21)

観察対象孔の位置:重要施設付近の側壁地質図(2/2)

- 側壁地質図⑫～⑮に示す位置で、3孔(T-1, T-3, F-10)のシームS-11及びその付近の岩盤性状を観察する。
- シームS-11は淡灰色火山礫凝灰岩の新鮮部に分布することを確認する。

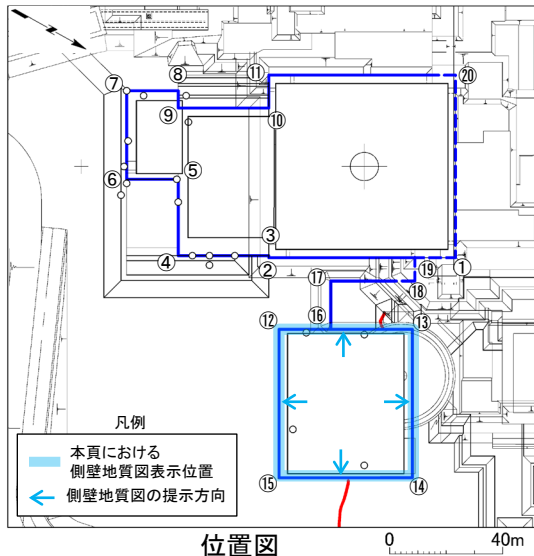
凡例

:本日のご観察コア



側壁地質図⑫～⑭(燃料補助建屋西側～北側)

側壁地質図⑭～⑫(燃料補助建屋東側～南側)



- 注1) FA/B: 燃料補助建屋。
注2) 断面図でシームS-11が屈曲して見える部分については、断面方向が変化することによるものであり、シームS-11の変位・変形によるものではない。

凡例

新第三紀 { 中新世 { 易国階層 { 上部層		淡灰色火山礫凝灰岩
		凝灰角礫岩
		風化部
	- - -	地質境界
	—	基礎地盤
	—	風化部下限

ボーリング孔のシームS-11	
●	①シームS-11有り (粘土質の薄層有り)
●	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
●	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)
—	①シームS-11有り (粘土質の薄層有り)
- - -	②シームS-11なし (細粒凝灰岩のみ有り)
⋯	③シームS-11なし (細粒凝灰岩なし)

孔名 ボーリング

審査資料の再チェックを行い、「ボーリング位置図での表示」を修正した。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(5/21)



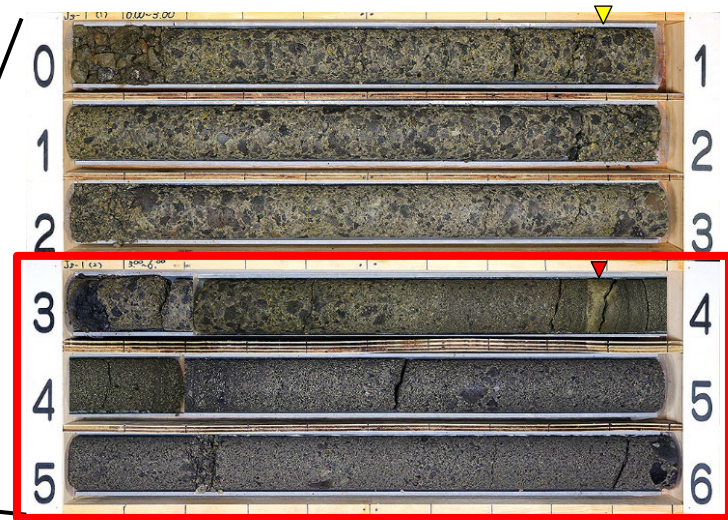
JS-1孔 深度3m~6m

- 深度3.88mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度0.90mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日まで観察コア

孔名: JS-1		孔口標高: T.P.12.13m		掘削長: 6.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0			XXXX			py(W)	灰黒・灰/淡黄褐	100			0.16m~0.90m: 風化により軟質化している。
1			XXXX					100	85	85	
2			XXXX					100	60	85	
3			XXXX	易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	silf	灰黒・灰/淡黄灰	100	41	61	3.87m~3.90m: 細粒凝灰岩が分布する。 3.88m: 厚さ約1.8cmのシーム(S-11)がある。 3.90m~3.96m: 粗粒凝灰岩が分布する。
4			XXXX					100	44	93	
5			XXXX					100	46	89	
6	6.00	6.13	XXXX					100			



▽ 風化部下限

▽ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。



6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(6/21)

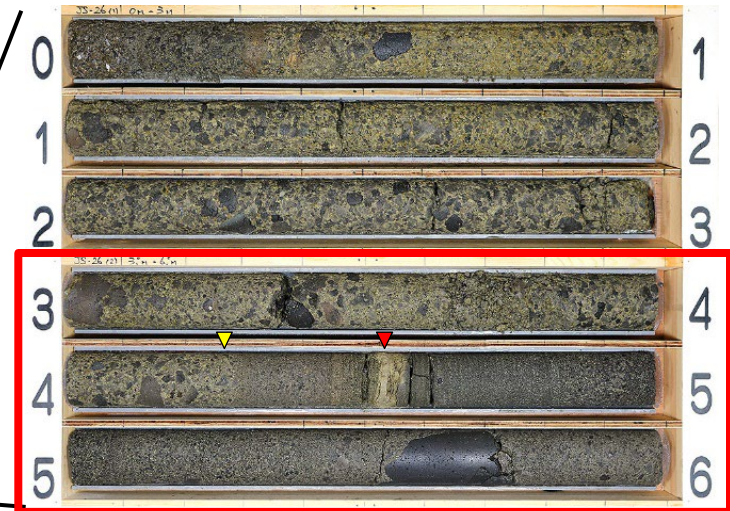
JS-26孔 深度3m～6m

- 深度4.53mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度4.27mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

: 本日まで観察コア

孔名: JS-26		孔口標高: T.P.12.15m		掘削長: 6.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.34	11.81	///	-	埋土	-	灰黒/精灰	100	0	100	0.34m~4.27m: 風化により軟質化している。
1			XXXX					100	46	46	
2			XXXX			py(W)	灰黒・褐灰 / 淡黄褐	100	32	86	
3			XXXX	島国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩			100	36	78	3.64m~3.84m: 岩片状コア。
4			XXXX					100	50	89	4.52m~4.57m: 細粒凝灰岩が分布する。
5			XXXX			00ef	灰黒/淡黄灰	100	30	97	4.53m: 厚さ約1.5cmのシーム(S-11)がある。
6	6.00	6.15	XXXX					100			



- ▼ 風化部下限
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(7/21)



JS-2孔 深度3m~6m

- 深度4.95mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度4.73mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

: 本日まで観察コア

孔名: JS-2		孔口標高: T.P.12.14m		掘削長: 6.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0			✕	易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒・褐灰 /淡黄褐	100	0	0	0.17m~4.73m: 風化により軟質化している。
1		100						0	0		
2		100						0	0		
3		100						0	0		
4		100						32	77	4.93m~4.97m: 細粒凝灰岩が分布する。 4.95m: 厚さ約1.6cmのシーム(S-11)がある。	
5		100						34	78		
6	6.00	6.14									



- ▼ 風化部下限
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。



6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(8/21)

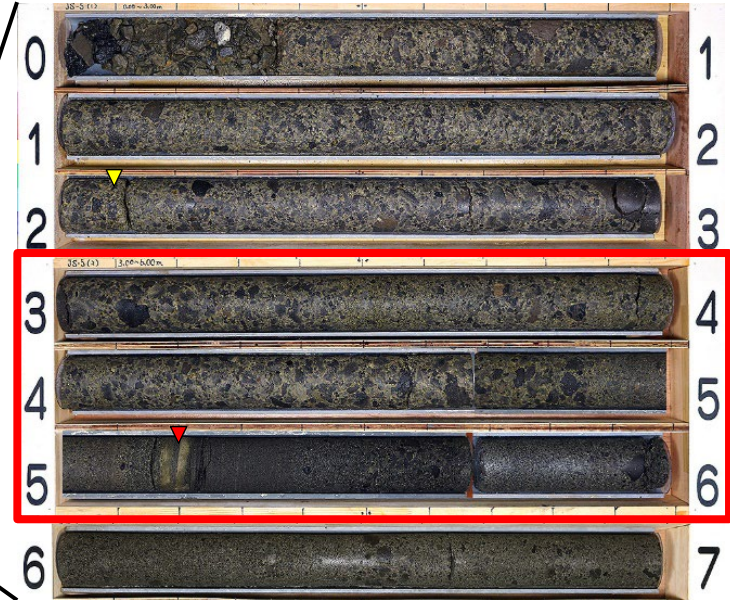
JS-5孔 深度3m~6m

- 深度5.20mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度2.10mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日まで観察コア

孔名: JS-5		孔口標高: T.P.12.16m		掘削長: 7.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.36	11.80	///	-	埋土	-	灰黒/暗灰	100	0	100	0.36m~2.10m: 風化により軟質化している。
1			XXXX			py(W)	灰黒・灰/淡黄褐	100	58	100	
2			XXXX					100	57	93	
3			XXXX	易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩			100	94	94	
4			XXXX			qzf	灰黒・灰/淡黄灰	100	58	100	
5			XXXX					100	44	88	5.17m~5.21m: 細粒凝灰岩が分布する。 5.20m: 厚さ約0.2cmのシーム(S-11)がある。 5.21m~5.38m: 粗粒凝灰岩が分布する。
6			XXXX					100	65	100	
7	7.00	5.16	XXXX								



- ▼ 風化部下限
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(9/21)



JS-6R孔 深度3m~6m

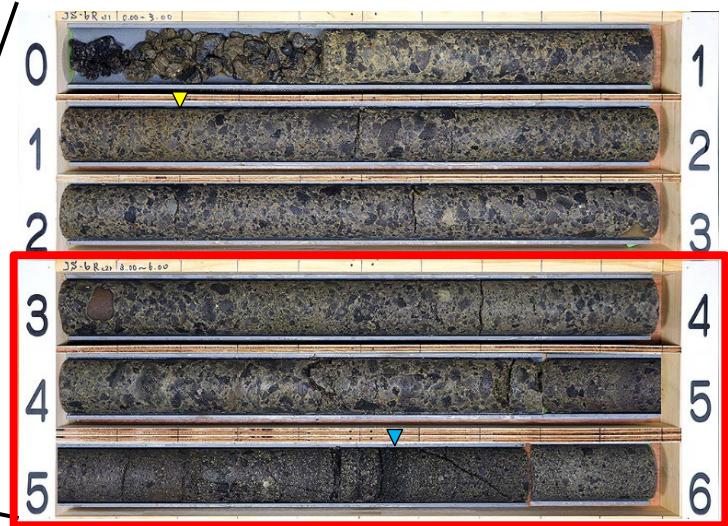
- 深度5.56m付近にはFT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」に相当する葉理の発達した淡灰色火山礫凝灰岩が分布する。
- FT5-3/ctf等層準の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度1.20mまで認められ、FT5-3/ctf等層準の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: JS-6R 孔口標高: T.P.12.10m 掘削長: 6.00m (1-1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.43	11.67		-	埋土	-	灰黒	100	0	100	0.43m~1.20m: 風化により軟質化している。
1			XXXX			py(W)	灰黒・灰褐 / 淡黄褐	100	49	100	
2			XXXX					100	41	100	
3			XXXX	易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	00tf	灰黒・灰 / 淡黄灰	100	70	100	
4			XXXX					100	47	96	
5			XXXX					100	20	90	
6	6.00	6.10	XXXX					100			



- ▼ 風化部下限
- ▼ FT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(10/21)



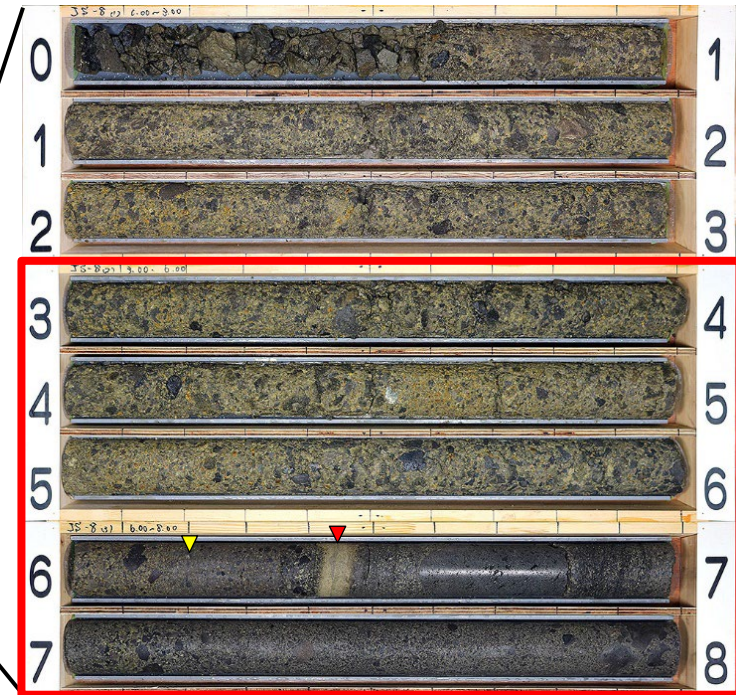
JS-8孔 深度3m~8m

- 深度6.43mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度6.20mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: JS-8		孔口標高: T.P.12.08m		掘削長: 8.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.63	11.45	///	-	埋土	-	暗灰/暗褐	100	0	0	0.63m~6.20m: 風化により軟質化している。
1			XXXX					100	0	0	
2			XXXX					100	0	0	
3			XXXX					100	0	0	
4			XXXX	易固結層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒・褐灰 / 淡黄褐	100	0	0	
5			XXXX					100	0	0	
6			XXXX					100	10	10	
7			XXXX					100	40	92	6.42m~6.47m: 細粒凝灰岩が分布する。 6.43m: 厚さ約0.8cmのシーム(S-11)がある。
8	8.00	4.08	XXXX			AbLr	灰黒/淡黄灰	100	100	100	



- ▼ 風化部下限
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。



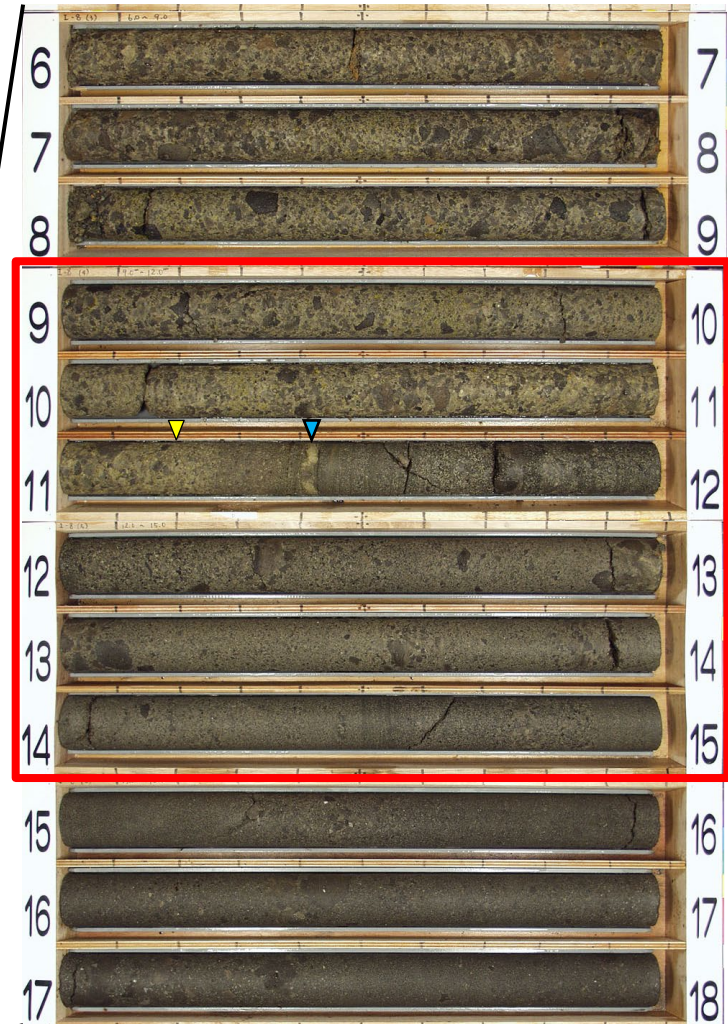
6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(11/21)

I-8孔 深度9m~15m

- 深度11.42m付近には、FT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」が分布する。
- FT5-3/ctf等層準の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度11.20mまで認められ、FT5-3/ctf等層準の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例
 : 本日のご観察コア

孔名: I-8		孔口標高: T.P.17.73m		掘削長: 321.00m (11-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0	0.97	16.76	YY	第四系	腐植土		褐黒	100			
1					ローム		褐	100			
2	2.88	14.85			段丘堆積物		暗灰/暗褐	100			
3								暗灰/暗褐	100		
4	5.46	12.27						100			
5								100			
6								100			5.46m~11.20m: 風化により軟質化している。
7						py(W)	灰黒/淡黄褐	100	0	0	
8								100	0	0	
9					淡灰色火山礫凝灰岩			100	0	0	
10								100	0	0	
11								100	0	0	
12								100	28	75	11.37m~11.47m: 粗粒凝灰岩が分布する。
13								100	59	91	11.42m付近: 厚さ約1cmにわたり細粒凝灰岩質である。
14						00tf	灰黒/淡黄灰	100	91	91	
15	14.89	2.84						100	57	95	
16	15.24	2.49			粗粒凝灰岩	ctf	灰	100	70	95	
17							灰黒/淡黄灰	100	100	100	
18				易固間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩	00tf	灰黒/暗黄灰	100	97	97	



注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

▼ 風化部下限
▼ FT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(12/21)



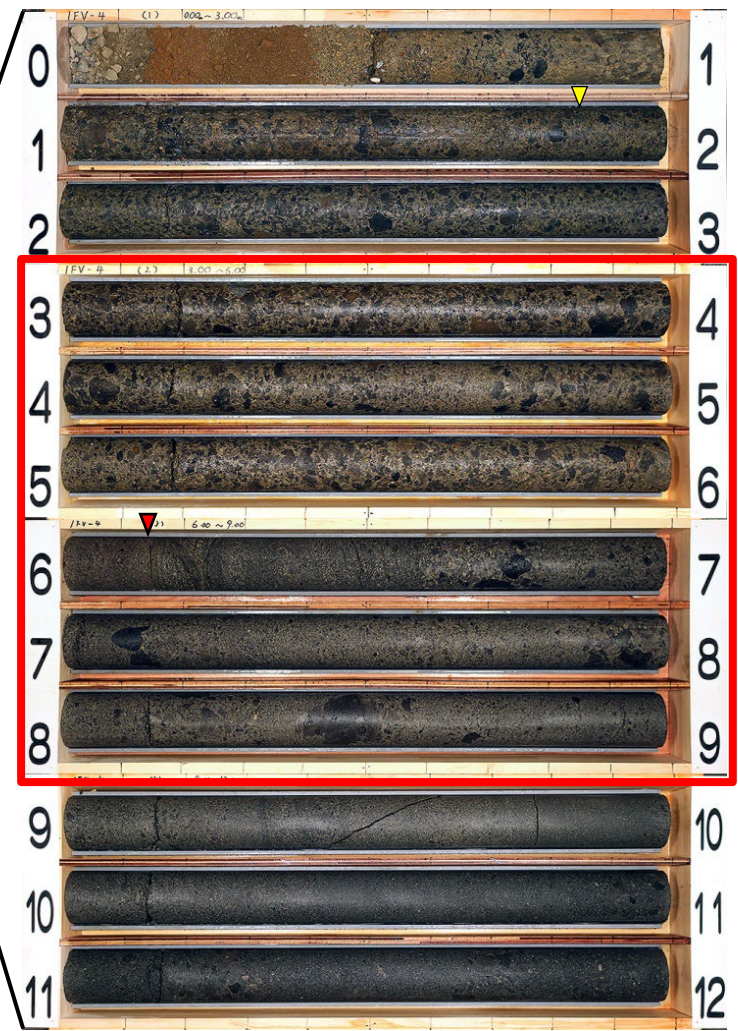
1FV-4孔 深度3m~9m

- 深度6.14mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度1.85mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

□ : 本日のご観察コア

孔名: 1FV-4		孔口標高: T.P.12.04m		掘削長: 28.00m (1 - 1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
0	0.41	11.63	埋土	-	埋土	-	褐・暗灰/褐・暗灰	100	0	100	
1	0.80	11.24	第四系	段丘地積物	py(W)	灰黒・灰/暗褐	灰黒/淡黄褐	100	43	70	0.80m~1.85m: 風化により軟質化している。
2								100	38	100	
3								100	33	97	
4								100	34	100	
5								100	30	100	
6								100	35	90	6.14m~6.15m: 細粒凝灰岩が分布する。 6.14m: フィルム状の厚さのシーム(S-11)がある。掘削の影響でシームの大部分が消失している。
7					淡灰色 火山礫凝灰岩	281f	灰黒/淡黄灰	100	97	97	
8								100	42	92	
9								100	34	96	
10								100	86	100	
11								100	84	98	
12								100	87	98	
13								100	69	97	
14				易固間層 上部層				100	53	94	13.85m~13.88m: 細粒凝灰岩をレンズ状~ブロック状に含む。
15	14.85	-2.81						100	45	100	14.71m~14.76m: 細粒凝灰岩が分布する。 14.78m~14.81m: 細粒凝灰岩が分布する。 14.82m~14.85m: 細粒凝灰岩が分布する。 14.85m~14.86m: 粗粒凝灰岩が分布する。 14.87m~14.88m: 粗粒凝灰岩が分布する。
16								100	53	100	14.92m: 厚さ約0.9cmの粗粒凝灰岩が分布する。
17								100	53	95	14.94m: 厚さ約0.6cmの粗粒凝灰岩が分布する。
18											



注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

- ▽ 風化部下限
- ▼ シームS-11

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(13/21)



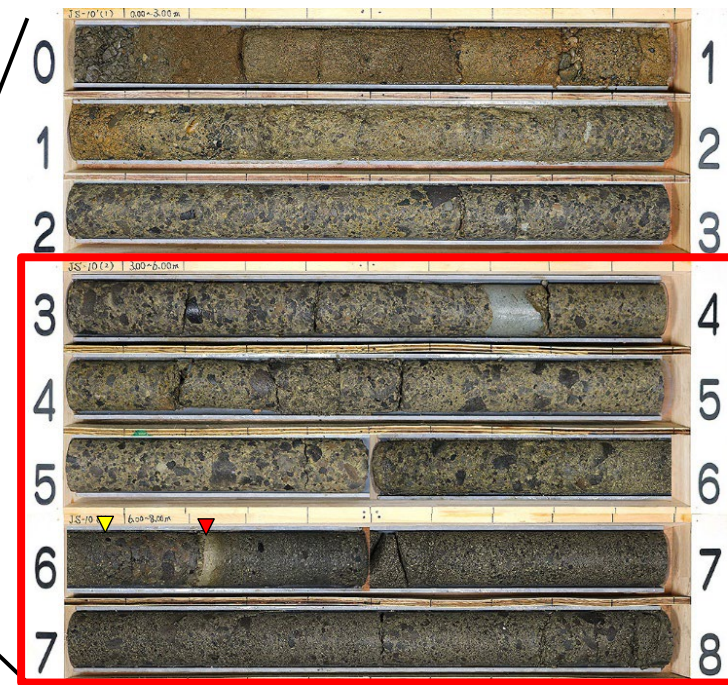
JS-10孔 深度3m~8m

- 深度6.22mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度6.07mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: JS-10			孔口標高: T.P.12.03m			掘削長: 8.00m (1-1)					
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0			○ ○ ○ ○	第四系	段丘堆積物	-	灰褐・灰/暗褐	100			
1	1.28	10.75	○ ○ ○ ○					100			1.28m~6.07m: 風化により軟質化している。
2			○ ○ ○ ○					100	65	100	
3			×	易固間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒・褐灰 /淡黄褐	100	39	100	
4			×					100	45	98	
5			×					100	50	100	
6			×					100	46	93	
7			×			00tf	灰黒・灰/淡黄灰	100	46	93	6.21m~6.25m: 細粒凝灰岩が分布する。 6.22m: 厚さ約3.6cmのシーム(S-11)がある。
8	8.00	4.03	×					100	27	79	



- ▽ 風化部下限
- ▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(14/21)



SB-024孔 深度3m~6m

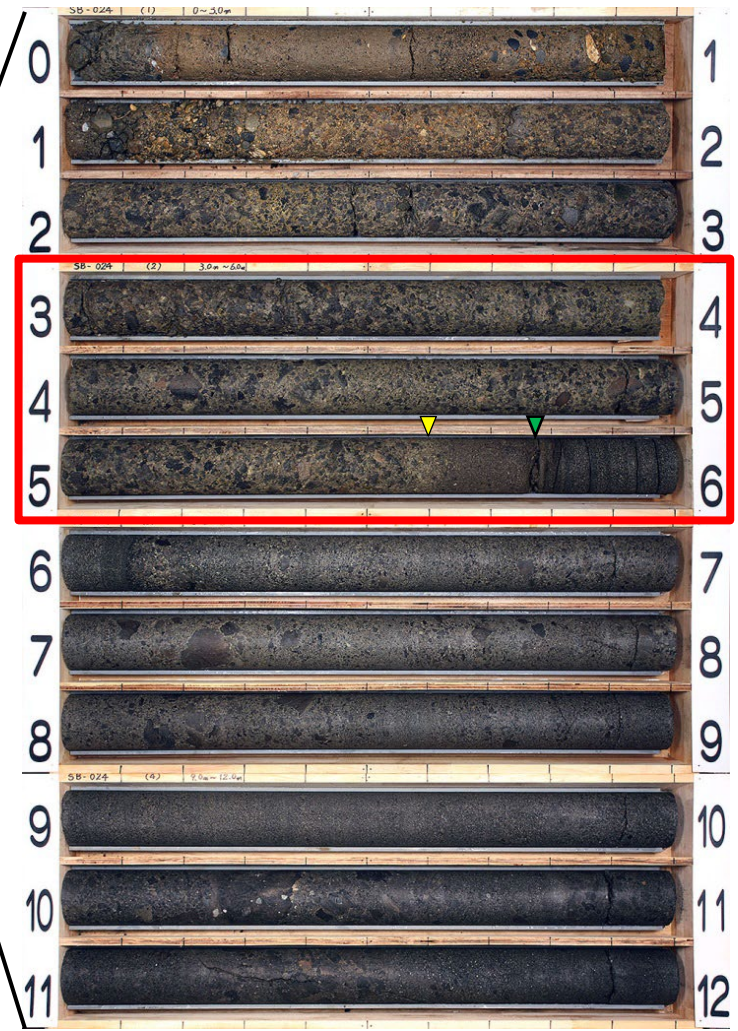
- 深度5.78m~5.79mにはFT5-3/ctf等層準のうち「②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)」が分布する。
- FT5-3/ctf等層準の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度5.60mまで認められ、FT5-3/ctf等層準の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日まで観察コア

孔名: SB-024 孔口標高: T.P.12.08m 掘削長: 90.00m (3 - 1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0			○ ○ ○ ○	第四系	段丘堆積物	-	灰黒・灰/暗褐	100			
1	1.32	10.76	○ ○ ○ ○					100			1.32m~5.60m: 風化により軟質化している。
2			× × × ×					100	43	100	
3			× × × ×			py(W)	灰黒/淡黄褐	100	40	97	
4			× × × ×					100	92	92	
5			× × × ×					100	40	78	5.78m~5.79m: 暗褐色の細粒凝灰岩が分布する。
6			× × × ×					100	91	91	
7			× × × ×	淡灰色火山礫凝灰岩				100	94	94	
8			× × × ×					100	66	83	
9			× × × ×					100	93	93	
10			× × × ×			actf	灰黒/淡黄灰	100	58	100	
11			× × × ×					100	49	100	
12			× × × ×					100	50	94	
13			× × × ×					100	51	95	13.52m~13.56m: 細粒凝灰岩が分布する。
14	14.28	-2.20	× × × ×					100	25	79	14.19m~14.28m: 細粒凝灰岩が分布する。
15			× × × ×	易固間層 上部層				100	92	92	
16			× × × ×					100	91	91	
17			× × × ×				灰黒・灰・褐灰/淡黄灰	100	47	87	
18			× × × ×					100			



▼ 風化部下限

▼ FT5-3/ctf等層準のうち「②シームS-11なし(細粒凝灰岩のみ有り)」

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(15/21)



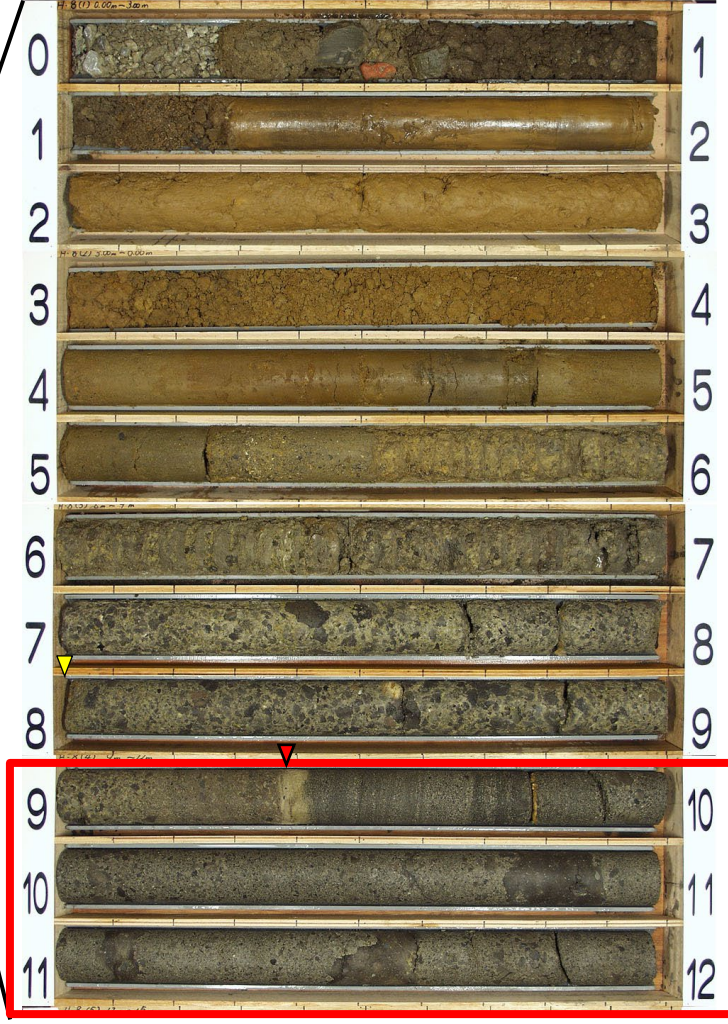
H-8孔 深度9m~12m

- 深度9.38mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度8.00mまで認められ、シームS-11上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

: 本日のご観察コア

孔名: H-8		孔口標高: T.P.16.33m		掘削長: 170.00m (6-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
0				-	埋土		-	100			
1	1.23	15.10						100			
2				第四系	ローム		褐	100			
3	3.12	13.21						100			
4					段丘堆積物		褐	100			
5								100			
6	5.52	10.81						100			5.52m~8.00m: 風化により軟質化している。
7					淡灰色火山礫凝灰岩	py(W)	灰黒/褐黄灰	100	67	100	
8						0&t	灰黒/淡黄灰	100	55	93	
9	9.37	6.96			粗粒凝灰岩/淡灰色火山礫凝灰岩	ctf/0&t	灰・黄灰	100	34	96	9.38m~9.39m: 細粒凝灰岩が分布する。 9.38m: 厚さ約0.5cmのシーム(S-11)がある。
10	9.60	6.73						100	85	100	
11					淡灰色火山礫凝灰岩	0&t	灰黒/淡黄灰	100	47	91	
12								100			
13	12.42	3.91			粗粒凝灰岩/淡灰色火山礫凝灰岩	ctf/0&t	灰黒/淡黄灰・暗黄灰	100	48	95	
14	13.16	3.17						100	64	100	
15					淡灰色火山礫凝灰岩	0&t	灰黒/暗黄灰	100	50	100	
16	16.34	-0.01						100	64	74	
17	16.91	-0.58			粗粒凝灰岩	ctf	暗灰	100	55	87	
18	17.89	-1.56		易間層上部層	淡灰色火山礫凝灰岩/粗粒凝灰岩/粗粒凝灰岩	0&t/ctf/tf	灰黒/暗黄灰・暗灰・黄灰	100	14	70	



▼ 風化部下限

▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(16/21)

1FV-1孔 深度3m~6m

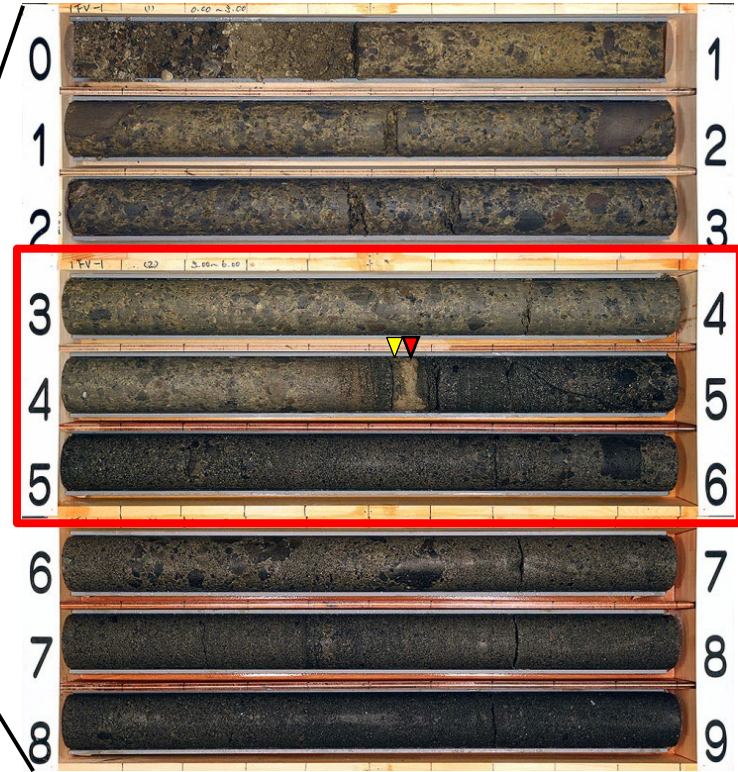


- 深度4.57mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度4.55mまで認められ、シームS-11の上盤には風化部が接するが、下盤は新鮮部から成り、上下盤に風化部は分布しない。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名: 1FV-1		孔口標高: T.P.12.14m		掘削長: 25.00m (1-1)									
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状 図	地層 名	地質 名	岩盤 区分	色 調	コア採取率 (%)		最大コア長 (cm)		R Q D (%)	記事
								0	100	0	100		
0			✕					100	0	0	0	0	0.00m~4.55m:風化により軟質化している。
1				100	0	0	0						
2				100	0	0	0						
3				100	0	0	0						
4				100	66	90							
5				100	54	83		4.55m~4.58m:細粒凝灰岩が分布する。 4.57m:厚さ約2.7cmのシーム(S-11)がある。					
6				100	50	100							
7				100	75	100							
8				100	52	100							
9				100	41	100							
10				100	70	96							
11				100	47	100							
12	12.55	-0.41		100	63	100		11.77m~11.82m:淡灰色火山礫凝灰岩と細粒凝灰岩の互層が分布する。 11.82m~11.88m:細粒凝灰岩が分布する。 11.90m~11.91m:細粒凝灰岩が分布する。 12.09m~12.10m:傾斜角約5°,幅約0.8cmの筋状構造がある。 12.13m~12.14m:傾斜角約10°,幅約0.6cmの筋状構造がある。 12.43m~12.45m:細粒凝灰岩が分布する。 12.45m~12.48m:細粒凝灰岩をレンズ状~ブロック状に含む。 12.49m~12.55m:細粒凝灰岩が分布する。					
13				100	55	96							
14				100	32	91							



▼ 風化部下限
▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(17/21)



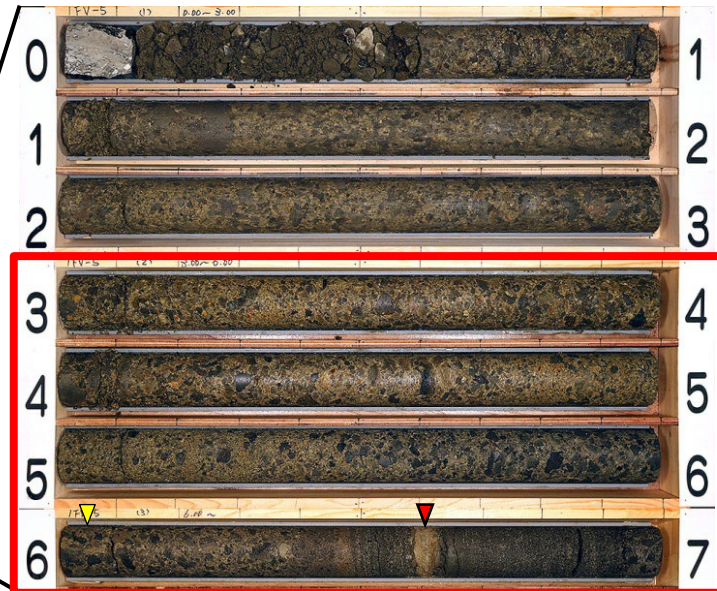
1FV-5孔 深度3m~7m

- 深度6.61mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度6.05mまで認められ、シームS-11の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日まで観察コア

孔名: 1FV-5		孔口標高: T.P.12.10m		掘削長: 7.00m (1-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R Q D (%)	記事
0	0.60	11.50		-	埋土	-	灰黒・暗灰/灰	100			0.60m~6.05m: 風化により軟質化している。
1							暗灰・褐灰・灰 / 淡黄褐	100	0	0	
2							暗灰・灰・褐灰 / 淡黄灰	100	0	0	
3				易国間層 上部層	淡灰色 火山礫凝灰岩	py(W)	暗灰・灰/明灰	100	60	60	6.59m~6.62m: 細粒凝灰岩が分布する。 6.61m: 厚さ約2.0cmのシーム(S-11)がある。
4							暗灰・灰/明灰	100	27	64	
5											
6											
7	7.00	5.10									



▼ 風化部下限
▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(18/21)

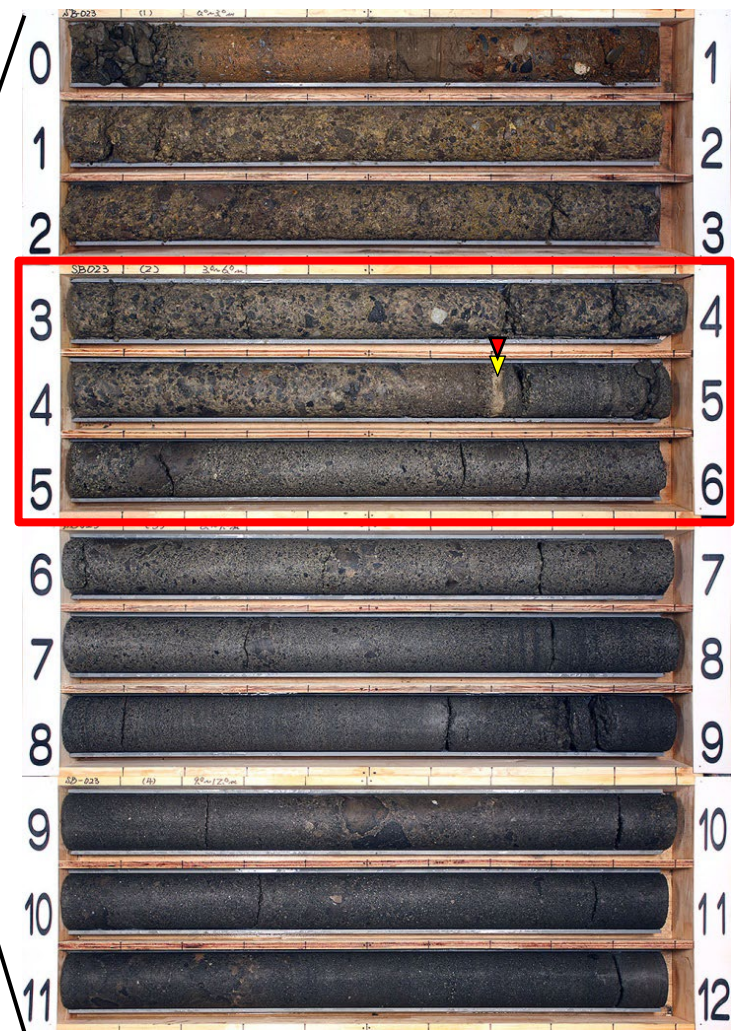


SB-023孔 深度3m~6m

- 深度4.72mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は深度4.72mまで認められ、シームS-11に直接接するが、下盤は新鮮部から成る。なお、本孔付近は設計上掘削除去される範囲に位置する。

凡例
 : 本日のご観察コア

孔名: SB-023		孔口標高: T.P.12.09m		掘削長: 90.00m (3-1)							
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事
1	1.00	11.09	○	第四系	段丘堆積物	-	褐灰・灰黒/暗褐	100	0	0	1.00m~4.72m: 風化により軟質化している。
2			×					100	18	18	
3			×			py(W)	灰黒/淡黄褐	100	43	75	
4			×					100	56	78	
5			×					100	49	100	4.71m~4.73m: 細粒凝灰岩が分布する。 4.72m: 厚さ約2.0cmのシーム(S-11)がある。
6			×					100	40	97	
7			×	淡灰色火山礫凝灰岩				100	50	100	
8			×					100	53	92	
9			×			eltf	灰黒/淡黄灰	100	67	91	
10			×					100	55	100	
11			×					100	91	91	
12			×					100	44	100	12.19m~12.22m: 細粒凝灰岩が分布する。
13	13.02	-0.93	×					100	35	85	12.97m~13.02m: 細粒凝灰岩が分布する。
14			×					100	59	98	
15			×	異国間層 上部層				100	52	92	
16			×					100	41	96	
17			×					100	60	98	
18			×					100	60	98	



注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。
▼ 風化部下限
▼ シームS-11

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(19/21)

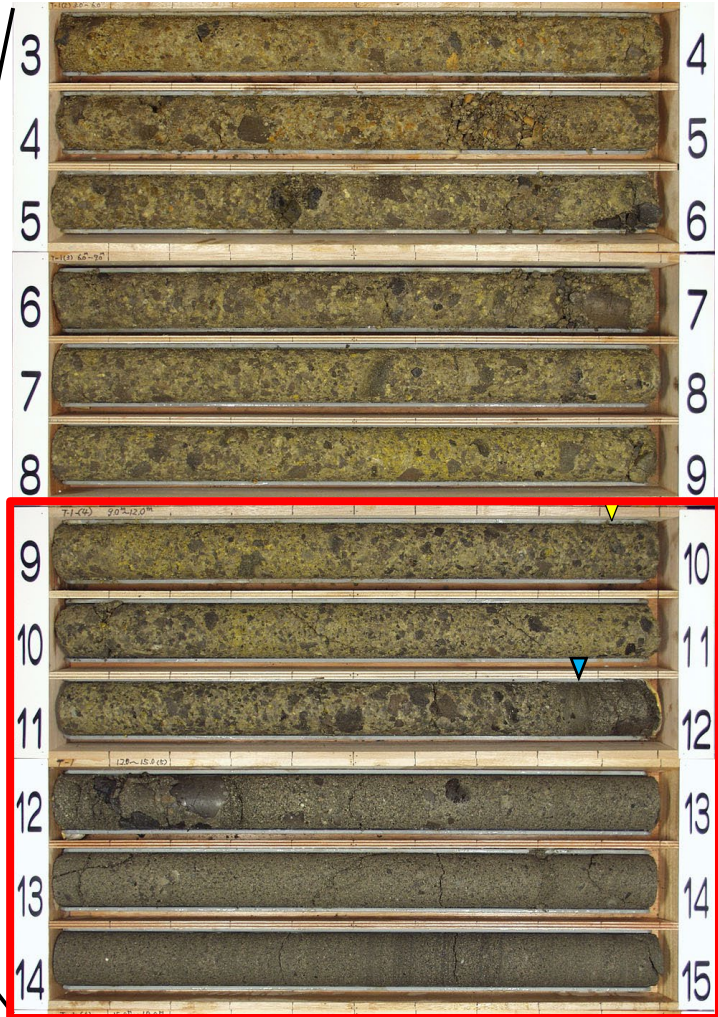


T-1孔 深度9m~15m

- 深度11.86m~11.90mにはFT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」が分布する。
- FT5-3/ctf等層準の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度9.92mまで認められ、FT5-3/ctf等層準の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例
 : 本日のご観察コア

孔名:T-1		孔口標高:T.P.22.05m		掘削長:175.00m (6-1)									
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事		
0	0.30	21.75	○	第四系	腐植土		黒褐	100					
1			○		段丘堆積物		暗灰/暗褐	100					
2	2.38	19.67	○						100			1.58m~2.00m: 淡灰色火山礫凝灰岩をブロック状に含む。 2.38m~9.92m: 風化により軟質化している。	
3			×	第四系	py(W)	灰黒/淡黄褐		100					
4			×							100			
5			×							100			
6			×							100			
7			×							100			
8			×							100			
9			×							100			
10			×				第四系	淡灰色火山礫凝灰岩	灰黒/淡黄灰	100	8	92	11.86m~11.90m: 粗粒凝灰岩が分布する。
11			×							100	36	92	
12			×							100	44	93	
13			×	100	46	79							
14			×	100	45	86							
15			×	第四系	易固間層 上部層	灰黒/暗黄灰	100	39	97				
16			×				100	56	97				
17			×				100	46	100				
18			×				100	66	100				



▼ 風化部下限
 ▼ FT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(20/21)



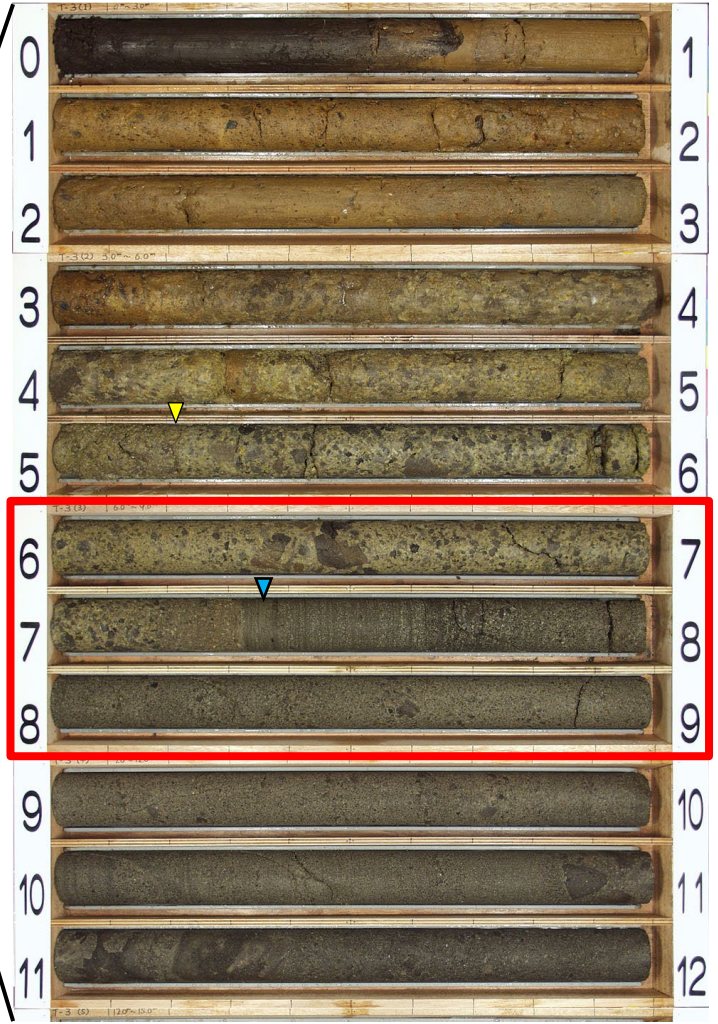
T-3孔 深度6m~9m

- 深度7.32m~7.39mにはFT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」が分布する。
- FT5-3/ctf等層準の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は、深度5.21mまで認められ、FT5-3/ctf等層準の上下盤の淡灰色火山礫凝灰岩は新鮮部から成る。

凡例

 : 本日のご観察コア

孔名:T-3		孔口標高:T.P.19.41m		掘削長:170.00m (6-1)								
標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	RQD (%)	記事	
0	0.64	18.77	YY	第四系	腐植土		褐黒	100				
1	1.03	18.38	Y		ローム		褐	100				
2			○	第四系	段丘地礫物		暗灰/暗褐	100				
3	3.16	16.25	○					暗灰/暗褐	100			3.16m~5.21m:風化により軟質化している。
4			×				py(W)		100			
5			×				灰黒/淡黄褐	100	48	71		
6			×				灰黒/淡黄灰	100	46	100		
7			×				灰黒/淡黄灰	100	36	79	7.32m~7.39m:粗粒凝灰岩が分布する。	
8			×				灰黒/淡黄灰	100	64	94		
9			×		淡灰色火山礫凝灰岩	00tf	灰黒/淡黄灰	100	38	100		
10			×				灰黒/淡黄灰	100	58	95		
11			×				灰黒/淡黄灰	100	100	100		
12			×				灰黒/淡黄灰	100	81	100		
13			×				灰黒/暗黄灰	100	49	91	13.96m~14.02m:粗粒凝灰岩が分布する。	
14			×				灰黒/暗黄灰	100	34	87	14.55m~14.58m:細粒凝灰岩が分布する。	
15	15.45	3.96	×				灰黒/暗黄灰	100	57	100	14.58m~14.63m:粗粒凝灰岩が分布する。	
16	15.88	3.53	×	易国間層 上部層	粗粒凝灰岩/細粒凝灰岩 /淡灰色火山礫凝灰岩	ctf/tf /00tf	灰黒-褐黒 /暗灰-黄灰-淡黄灰	100	57	100		
17			×					灰黒-褐黒 /暗灰-黄灰-淡黄灰	100	89	99	
18			×					灰黒-褐黒 /暗灰-黄灰-淡黄灰	100	71	97	



▼ 風化部下限

▼ FT5-3/ctf等層準のうち「③シームS-11なし(細粒凝灰岩なし)」

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。

6. 重要施設基礎地盤側面付近のコア(21/21)



F-10孔 深度6m~12m

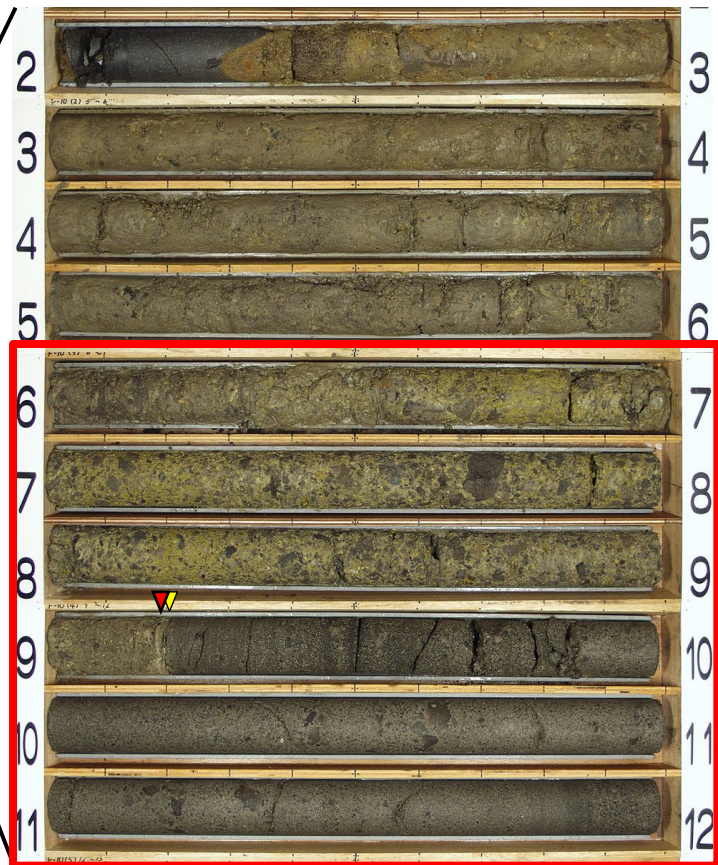
- 深度9.19mにはシームS-11が分布する。
- シームS-11の上盤の淡灰色火山礫凝灰岩の風化部は深度9.20m(T.P.+12.90m)まで認められ、シームS-11に接するが、この付近は既にT.P.+12.00mまで掘削除去されており、風化部とシームS-11が接する領域は存在しない。

凡例

: 本日のご観察コア

孔名: F-10 孔口標高: T.P.22.10m 掘削長: 326.00m (11-1)

標尺 (m)	深度 (m)	標高 T.P. (m)	柱状図	地層名	地質名	岩盤区分	色調	コア採取率 (%)	最大コア長 (cm)	R	Q	D	記事
0	0.52	21.58	YY		腐植土		褐黒	100					
1				第四系	ローム	-	褐	100					
2	2.48	19.62						100					2.48m~9.20m: 風化により軟質化している。
3								100	0	0			
4								100	0	0			
5								100	0	0			
6								100	0	0			
7						py(W)	灰黒 / 淡黄褐	100	30	30			
8				淡灰色火山礫凝灰岩				100	88		100		
9								100	41		90		9.18m~9.19m: 細粒凝灰岩が分布する。
10								100	18		41		9.19m: 厚さ約0.5cmのシーム(S-11)がある。
11						00tf	灰黒 / 淡黄灰	100	43		100		
12								100	38		96		11.77m~11.88m: 粗粒凝灰岩が分布する。
13	12.80	9.30			粗粒凝灰岩 / 淡灰色火山礫凝灰岩	ctf/00tf	灰黒 / 暗灰・淡黄灰	100	80		93		
14					淡灰色火山礫凝灰岩	00tf	灰黒 / 暗黄灰	100	84		100		
15	15.40	6.70			粗粒凝灰岩 / 淡灰色火山礫凝灰岩	ctf/00tf	灰 / 暗灰	100	78		92		
16	16.05	6.05		易固間層 上部層	粗粒凝灰岩	ctf	暗灰	100	54		92		
17	16.83	5.27			粗粒凝灰岩 / 細粒凝灰岩 / 淡灰色火山礫凝灰岩	ctf/00tf	灰黒 / 暗灰・黄灰・暗黄灰	100	32		75		16.83m~16.86m: 細粒凝灰岩が分布する。 16.92m~16.98m: 粗粒凝灰岩とシルト岩の相互層が分布する。
18	17.66	4.44						100					



▽ 風化部下限
▼ シームS-11

注) シームS-11等の発泡スチロール区間は、試料分析実施のためコアなし。